

令和6年度 第4回
さいたま市インターネット市民意識調査
【調査報告書】

令和7年3月

さいたま市市長公室秘書広報部広聴課

インターネット市民意識調査 【調査報告書】

目次

1	調査企画とサンプル構成	1
2	調査結果	3
	SC1. 居住地	4
	【自治会加入について】	5
	Q1. 自治会に加入している理由（複数回答）	5
	Q2. 自治会を退会した理由（複数回答）	6
	Q3. 自治会に加入したことがない理由（複数回答）	7
	【生涯学習について】	8
	Q4. 1年間で行った生涯学習（複数回答）	8
	Q5. 生涯学習を通じて身につけた知識や技能の活用方法（複数回答）	9
	Q6. 生涯学習活動を行う際に支障になること（複数回答）	10
	Q7. 生涯学習に関する情報の入手方法（複数回答）	11
	Q8. 関心のある学習テーマ（複数回答）	12
	【道路消毒について】	13
	Q9. 浸水家屋の感染症対策に関する国の通知の認知度	13
	Q10. 薬剤散布による道路消毒についてどう思うか	14
	【在宅医療について】	15
	Q11. 人生の最後を迎えたい場所	15
	Q12. 人生の最後を迎えたい場所を選んだ理由（複数回答）	16
	Q13. 人生の最終段階に受けたい医療・ケアについて、話し合ったことがあるか	17
	Q14. 人生の最終段階における医療・ケアについて話し合うきっかけ（複数回答）	18
	Q15. アドバンス・ケア・プランニングの認知度	19
	【再犯防止の推進について】	20
	Q16. 犯罪をした人等の立ち直りへの協力意向	20
	Q17. 再犯防止等に関する用語の認知度（複数回答）	21
	【市の情報取得について】	22
	Q18. 取得できなかった市の情報（複数回答）	22
	Q19. 市の情報を取得できなかった理由	23
3	調査票（アンケート画面）	25

1 調査企画とサンプル構成

1-1 調査目的

市が事業を推進するにあたり、迅速に市民意識を把握することができるよう、インターネットを活用した市民意識調査を実施する。

1-2 調査地域

さいたま市

1-3 調査対象者

対象者条件：さいたま市在住の18歳～69歳の男女

18～29歳、30代、40代、50代、60代の5年齢層において、各年齢層の男女各100サンプル、合計1,000サンプルを対象とする。

1-4 有効回答数

無作為配信により、合計1,000サンプルを回収した。

(人)

	18～29歳	30代	40代	50代	60代	合計
男性	100	100	100	100	100	500
女性	100	100	100	100	100	500
合計	200	200	200	200	200	1,000

(参考) なお、各区の有効回答数は下表の通りである。

(人)

さいたま市	男性						女性						合計
	18-29歳	30代	40代	50代	60代	計	18-29歳	30代	40代	50代	60代	計	
西区	9	2	6	8	5	30	9	7	5	4	6	31	61
北区	14	13	8	8	7	50	14	11	13	10	11	59	109
大宮区	10	11	12	10	5	48	11	10	13	10	11	55	103
見沼区	13	6	12	12	16	59	12	11	8	9	9	49	108
中央区	11	16	7	8	12	54	9	3	7	7	7	33	87
桜区	7	8	4	4	6	29	6	7	9	6	8	36	65
浦和区	11	11	16	12	19	69	15	18	11	17	16	77	146
南区	11	20	16	18	18	83	13	13	15	23	10	74	157
緑区	8	6	13	10	8	45	6	14	10	8	12	50	95
岩槻区	6	7	6	10	4	33	5	6	9	6	10	36	69
合計	100	100	100	100	100	500	100	100	100	100	100	500	1,000

1-5 調査方法

インターネット調査（調査会社の登録モニターによるWEB調査）

1-6 実施時期

令和7年1月31日（金）～2月14日（金）

1-7 調査実施機関

株式会社サーベイリサーチセンター

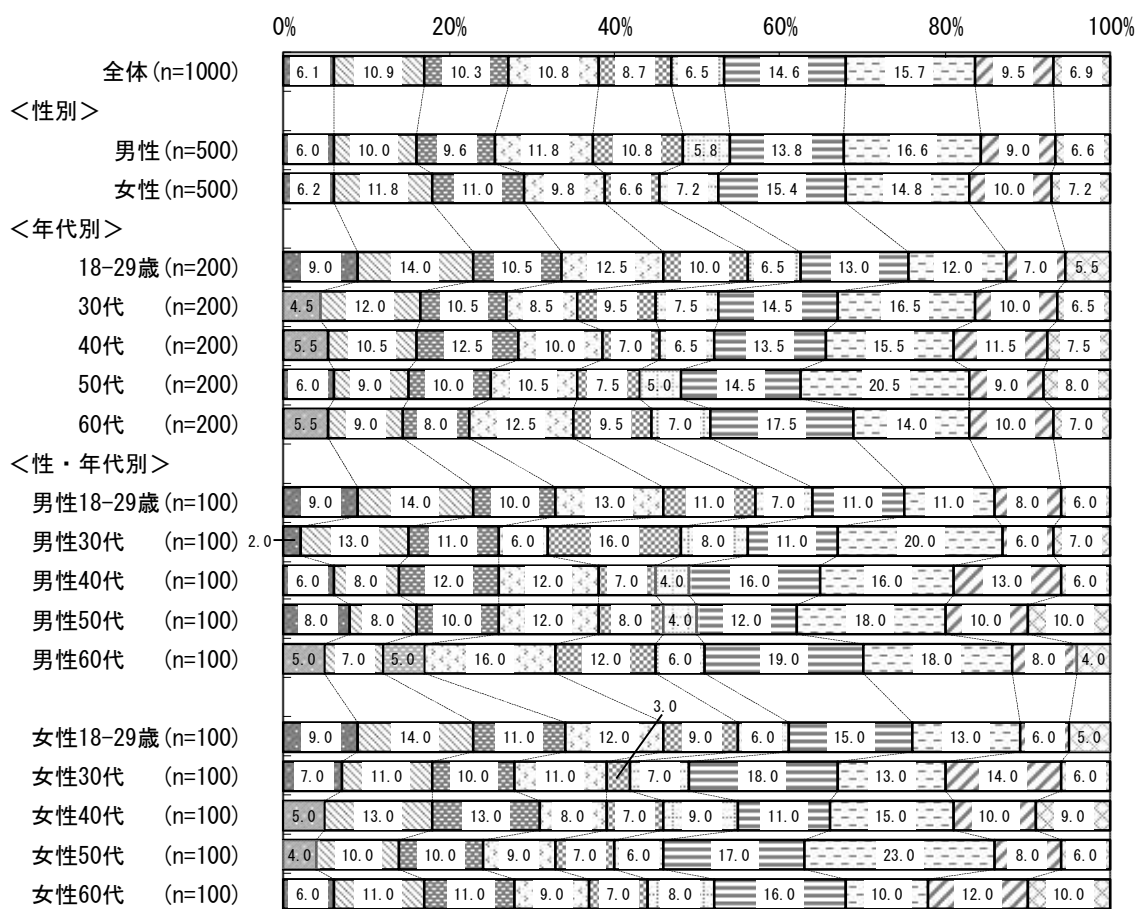
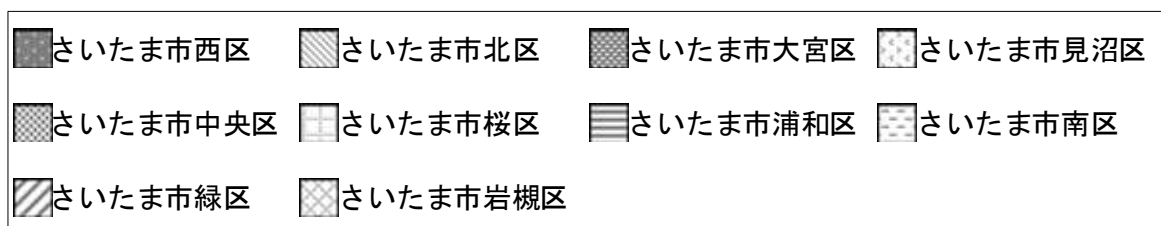
1-8 この報告書の見方

- (1) 図表中の「n」（number of case の略）は、各設問の回答者数を示し、比率算出の基数である。複数回答の設問では、すべての比率を合計すると100.0%を超える。
- (2) 図表中の調査結果の比率は、小数第2位を四捨五入して算出した。そのため、すべての比率を合計したときに100.0%にならないなど、各項目の比率と、その合計が一致しないことがある。
- (3) 図表中の選択肢の表記は、場合によっては語句を一部簡略化してある。
- (4) 【全体結果】及び【比較結果】における調査結果の比率は、図表中の調査結果の少数第1位を四捨五入して算出した。そのため、すべての比率を合計したときに100.0%にならないなど、各項目の比率と、その合計が一致しないことがある。

2 調査結果

SC1. 居住地

あなたのお住まいをお答えください。

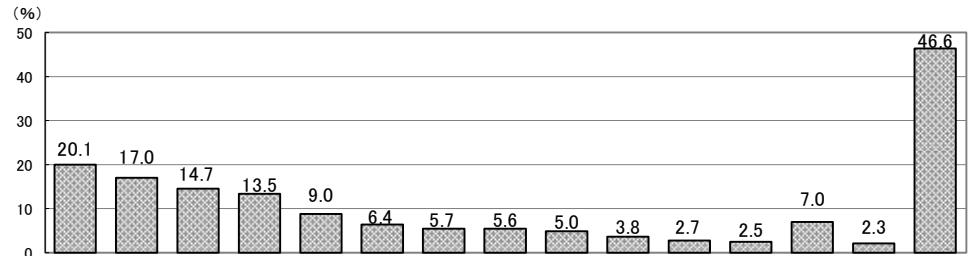


【自治会加入について】

Q 1. 自治会に加入している理由（複数回答）

現在、自治会に加入している方について、加入している理由は何ですか。

以下の中から、あてはまるものをすべて選んでください。



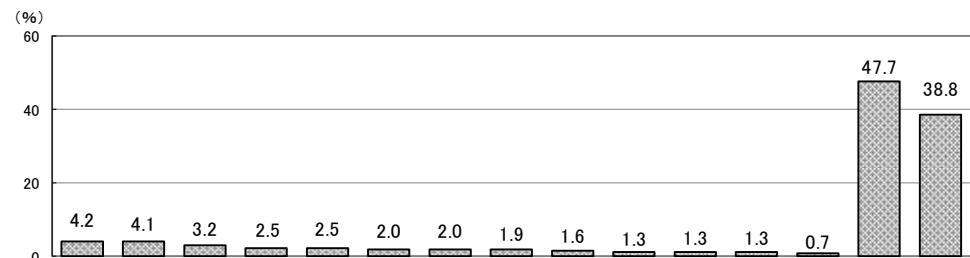
		加入するものだと思っているから	周りが加入しているから	ごみ置き場を利用するため	親の代から加入しているから	災害時に助け合えるから	地域や近隣の方との交流を図りたいから	地域に貢献したいから	回覧板等の情報が欲しいから	不動産関係業者から加入を案内されたから	運動会・夏祭り・盆踊りなどのイベントがあるから	子ども会に入っているから	住み慣れたまちへの郷土愛	なんとなく	その他	加入していない
全体(n=1000)		20.1	17.0	14.7	13.5	9.0	6.4	5.7	5.6	5.0	3.8	2.7	2.5	7.0	2.3	46.6
性別	男性(n=500)	19.6	16.8	12.6	13.6	7.6	7.6	7.4	6.0	6.2	4.4	2.8	2.8	8.4	1.6	47.2
	女性(n=500)	20.6	17.2	16.8	13.4	10.4	5.2	4.0	5.2	3.8	3.2	2.6	2.2	5.6	3.0	46.0
年代別	18-29歳(n=200)	10.5	7.5	8.0	16.0	5.0	3.5	6.0	6.0	5.0	5.0	1.5	3.0	4.5	0.0	65.0
	30代 (n=200)	13.0	15.0	11.5	8.5	6.0	4.0	2.5	5.0	3.0	3.0	3.5	0.5	4.0	2.0	60.0
	40代 (n=200)	19.0	17.5	18.5	15.0	3.0	4.0	2.5	3.5	5.5	4.0	4.5	1.0	10.5	2.5	46.5
	50代 (n=200)	21.0	15.5	14.0	14.0	10.5	8.0	7.0	4.5	5.5	4.0	2.5	3.5	9.5	3.5	38.0
	60代 (n=200)	37.0	29.5	21.5	14.0	20.5	12.5	10.5	9.0	6.0	3.0	1.5	4.5	6.5	3.5	23.5
性・年代別	男性18-29歳(n=100)	12.0	10.0	7.0	16.0	6.0	5.0	8.0	5.0	7.0	7.0	3.0	5.0	6.0	0.0	61.0
	男性30代 (n=100)	13.0	14.0	10.0	8.0	4.0	3.0	2.0	4.0	4.0	2.0	2.0	0.0	6.0	2.0	58.0
	男性40代 (n=100)	15.0	14.0	12.0	17.0	0.0	3.0	4.0	4.0	7.0	1.0	4.0	1.0	16.0	3.0	48.0
	男性50代 (n=100)	18.0	14.0	12.0	16.0	11.0	10.0	8.0	6.0	6.0	6.0	4.0	2.0	7.0	2.0	45.0
	男性60代 (n=100)	40.0	32.0	22.0	11.0	17.0	17.0	15.0	11.0	7.0	6.0	1.0	6.0	7.0	1.0	24.0
	女性18-29歳(n=100)	9.0	5.0	9.0	16.0	4.0	2.0	4.0	7.0	3.0	3.0	0.0	1.0	3.0	0.0	69.0
	女性30代 (n=100)	13.0	16.0	13.0	9.0	8.0	5.0	3.0	6.0	2.0	4.0	5.0	1.0	2.0	2.0	62.0
	女性40代 (n=100)	23.0	21.0	25.0	13.0	6.0	5.0	1.0	3.0	4.0	7.0	5.0	1.0	5.0	2.0	45.0
	女性50代 (n=100)	24.0	17.0	16.0	12.0	10.0	6.0	6.0	3.0	5.0	2.0	1.0	5.0	12.0	5.0	31.0
	女性60代 (n=100)	34.0	27.0	21.0	17.0	24.0	8.0	6.0	7.0	5.0	0.0	2.0	3.0	6.0	6.0	23.0

【全体結果】「加入するものだと思っているから」が20%で最も高く、「周りが加入しているから」(17%)、「ごみ置き場を利用するため」(15%)、「親の代から加入しているから」(14%)が続いた。

◎年代別で見ると、「加入するものだと思っているから」は、年代が上がるにつれ高くなり、60代で37%となった。

Q 2. 自治会を退会した理由（複数回答）

自治会にかつて加入していたが、退会した方について、退会した理由は何ですか。
以下の中から、あてはまるものをすべて選んでください。



		メリットを感じられないから	加入は任意だから	役員になりたくないから	回覧板のやりとりが面倒だから	仕事が忙しいから	高齢となり活動が大変だから	会費の負担が重いから	家庭の都合で忙しいから	自治会運営に不満があるから	子ども会を退会したから	人間関係によるトラブルのため	会員情報の取り扱いが信用できないから	その他	退会したことがない	加入したことがない
全体(n=1000)		4.2	4.1	3.2	2.5	2.5	2.0	2.0	1.9	1.6	1.3	1.3	1.3	0.7	47.7	38.8
性別	男性(n=500)	3.4	4.0	3.2	2.2	3.2	2.2	1.4	1.8	1.2	1.4	1.8	1.6	0.2	46.2	40.0
	女性(n=500)	5.0	4.2	3.2	2.8	1.8	1.8	2.6	2.0	2.0	1.2	0.8	1.0	1.2	49.2	37.6
年代別	18-29歳(n=200)	5.0	3.0	3.5	4.5	5.0	4.0	4.0	3.5	2.0	2.0	2.0	3.5	0.0	23.5	58.0
	30代 (n=200)	4.0	3.0	5.0	2.5	3.5	1.0	1.0	3.5	2.5	0.5	2.5	2.5	0.0	34.0	53.0
	40代 (n=200)	4.0	6.0	4.5	3.0	1.0	1.5	2.5	1.0	1.0	2.0	0.0	0.0	1.0	50.5	36.0
	50代 (n=200)	3.5	4.0	1.5	1.5	3.0	1.5	0.5	1.5	1.5	1.0	2.0	0.0	0.5	58.5	29.5
	60代 (n=200)	4.5	4.5	1.5	1.0	0.0	2.0	2.0	0.0	1.0	1.0	0.0	0.5	2.0	72.0	17.5
性・年代別	男性18-29歳(n=100)	6.0	4.0	5.0	6.0	8.0	6.0	4.0	5.0	2.0	3.0	4.0	5.0	0.0	23.0	53.0
	男性30代 (n=100)	3.0	2.0	5.0	2.0	5.0	1.0	0.0	2.0	2.0	0.0	2.0	3.0	0.0	33.0	51.0
	男性40代 (n=100)	2.0	4.0	2.0	0.0	0.0	1.0	1.0	0.0	0.0	2.0	0.0	0.0	0.0	50.0	40.0
	男性50代 (n=100)	4.0	6.0	2.0	3.0	3.0	1.0	1.0	2.0	2.0	1.0	3.0	0.0	0.0	52.0	36.0
	男性60代 (n=100)	2.0	4.0	2.0	0.0	0.0	2.0	1.0	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	1.0	73.0	20.0
	女性18-29歳(n=100)	4.0	2.0	2.0	3.0	2.0	2.0	4.0	2.0	2.0	1.0	0.0	2.0	0.0	24.0	63.0
	女性30代 (n=100)	5.0	4.0	5.0	3.0	2.0	1.0	2.0	5.0	3.0	1.0	3.0	2.0	0.0	35.0	55.0
	女性40代 (n=100)	6.0	8.0	7.0	6.0	2.0	2.0	4.0	2.0	2.0	2.0	0.0	0.0	2.0	51.0	32.0
	女性50代 (n=100)	3.0	2.0	1.0	0.0	3.0	2.0	0.0	1.0	1.0	1.0	1.0	0.0	1.0	65.0	23.0
	女性60代 (n=100)	7.0	5.0	1.0	2.0	0.0	2.0	3.0	0.0	2.0	1.0	0.0	1.0	3.0	71.0	15.0

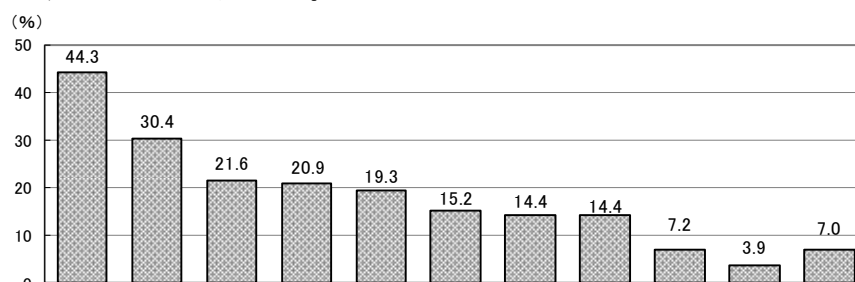
【全体結果】「メリットを感じられないから」、「加入は任意だから」がともに4%で最も高く、「役員になりたくないから」、「回覧板のやりとりが面倒だから」、「仕事が忙しいから」（ともに3%）が続いた。

(Q2で、「加入したことがない」を回答した人が対象)

Q3. 自治会に加入したことがない理由(複数回答)

今まで自治会に加入したことがない方について、加入したことがない理由は何ですか。

以下の中から、あてはまるものをすべて選んでください。



		加入は任意だから	加入しなくても生活に支障がないから	定住するつもりがないから	メリットを感じられないから	加入方法がわからないから	仕事が忙しいから	他人との交流が面倒だから	会費の負担が重いから	家庭の都合で忙しいから	会員情報の取り扱いが信用できないから	その他
全体(n=388)		44.3	30.4	21.6	20.9	19.3	15.2	14.4	14.4	7.2	3.9	7.0
性別	男性(n=200)	46.0	28.5	17.0	24.0	19.5	16.5	14.0	16.0	6.0	3.5	7.5
	女性(n=188)	42.6	32.4	26.6	17.6	19.1	13.8	14.9	12.8	8.5	4.3	6.4
年代別	18-29歳(n=116)	47.4	30.2	24.1	26.7	27.6	23.3	19.0	21.6	8.6	4.3	4.3
	30代 (n=106)	46.2	31.1	25.5	21.7	15.1	12.3	11.3	15.1	10.4	4.7	2.8
	40代 (n=72)	43.1	34.7	16.7	15.3	18.1	13.9	12.5	13.9	5.6	5.6	6.9
	50代 (n=59)	40.7	27.1	23.7	18.6	11.9	11.9	13.6	6.8	5.1	0.0	10.2
	60代 (n=35)	37.1	25.7	8.6	14.3	20.0	5.7	14.3	2.9	0.0	2.9	22.9
性・年代別	男性18-29歳(n=53)	54.7	26.4	18.9	32.1	28.3	24.5	17.0	26.4	5.7	1.9	7.5
	男性30代 (n=51)	49.0	29.4	17.6	31.4	13.7	15.7	13.7	15.7	11.8	7.8	3.9
	男性40代 (n=40)	37.5	37.5	20.0	15.0	12.5	20.0	15.0	12.5	5.0	2.5	2.5
	男性50代 (n=36)	38.9	25.0	13.9	16.7	19.4	8.3	8.3	11.1	2.8	0.0	11.1
	男性60代 (n=20)	45.0	20.0	10.0	15.0	25.0	5.0	15.0	5.0	0.0	5.0	20.0
	女性18-29歳(n=63)	41.3	33.3	28.6	22.2	27.0	22.2	20.6	17.5	11.1	6.3	1.6
	女性30代 (n=55)	43.6	32.7	32.7	12.7	16.4	9.1	9.1	14.5	9.1	1.8	1.8
	女性40代 (n=32)	50.0	31.3	12.5	15.6	25.0	6.3	9.4	15.6	6.3	9.4	12.5
	女性50代 (n=23)	43.5	30.4	39.1	21.7	0.0	17.4	21.7	0.0	8.7	0.0	8.7
	女性60代 (n=15)	26.7	33.3	6.7	13.3	13.3	6.7	13.3	0.0	0.0	0.0	26.7

【全体結果】自治会に加入したことがない人(388人)に、加入したことがない理由を聞いたところ、「加入は任意だから」が44%で最も高く、「加入しなくても生活に支障がないから」(30%)が続いた。

◎性別で見ると、「定住するつもりがないから」は、女性(27%)が男性(17%)よりも10ポイント高かった。一方、「メリットを感じられないから」は、男性(24%)が女性(18%)よりも6ポイント高かった。

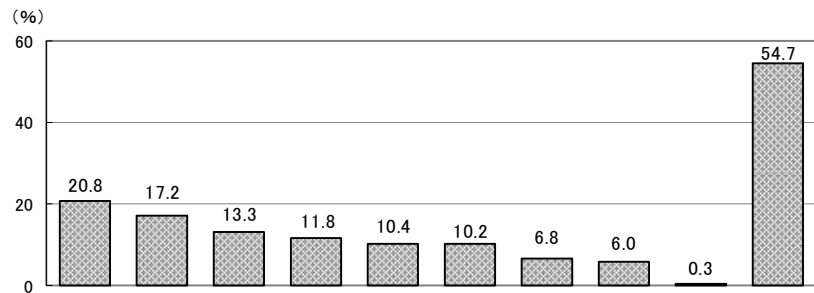
◎年代別で見ると、「加入は任意だから」、「会費の負担が重いから」は、年代が下がるにつれ高くなった。

【生涯学習について】

Q4. 1年間で行った生涯学習（複数回答）

あなたは、この1年間に、どのような生涯学習を行いましたか。

以下の中から、あてはまるものをすべて選んでください。



		職業上の知識・技術・技能の習得、資格の取得（例：医療・技術・介護事務の習得、簿記など）	家庭生活、日常生活、健康など（例：料理、洋裁、病気の予防、栄養など）	スポーツやレクリエーション（例：登山、ハイキング、卓球、テニス、ダンス、野球、サッカー、卓球など）	道、趣味やけいこ事（例：音楽、美術、華道、舞踊、書道など）	語学や教養（例：文学、歴史、科学、芸術など）	パソコンやインターネットの活用講座、スマートフォンの活用法、ホームページの作り方など	高齢社会、人権問題、国際交流、ボランティア活動、地域活動など	子育て、青少年の健全育成（例：育児、しつけ、非行・いじめ防止など）	その他	特に行っていない
全体(n=1000)		20.8	17.2	13.3	11.8	10.4	10.2	6.8	6.0	0.3	54.7
性別	男性(n=500)	28.8	14.6	16.2	10.6	11.6	12.0	7.6	5.4	0.2	50.2
	女性(n=500)	12.8	19.8	10.4	13.0	9.2	8.4	6.0	6.6	0.4	59.2
年代別	18-29歳(n=200)	31.5	26.5	15.5	13.0	17.5	15.5	12.0	9.0	0.0	46.5
	30代 (n=200)	23.0	16.0	12.0	11.5	8.5	9.0	5.0	8.0	0.0	54.0
	40代 (n=200)	19.5	17.5	12.0	12.5	7.5	11.5	4.5	10.0	0.0	54.0
	50代 (n=200)	18.0	10.5	10.0	12.0	9.0	6.0	4.0	2.0	0.5	60.5
	60代 (n=200)	12.0	15.5	17.0	10.0	9.5	9.0	8.5	1.0	1.0	58.5
性・年代別	男性18-29歳(n=100)	41.0	25.0	22.0	15.0	21.0	22.0	16.0	9.0	0.0	36.0
	男性30代 (n=100)	35.0	11.0	13.0	11.0	7.0	10.0	6.0	8.0	0.0	49.0
	男性40代 (n=100)	21.0	12.0	12.0	5.0	7.0	9.0	4.0	7.0	0.0	59.0
	男性50代 (n=100)	29.0	9.0	10.0	9.0	11.0	7.0	4.0	3.0	1.0	56.0
	男性60代 (n=100)	18.0	16.0	24.0	13.0	12.0	12.0	8.0	0.0	0.0	51.0
	女性18-29歳(n=100)	22.0	28.0	9.0	11.0	14.0	9.0	8.0	9.0	0.0	57.0
	女性30代 (n=100)	11.0	21.0	11.0	12.0	10.0	8.0	4.0	8.0	0.0	59.0
	女性40代 (n=100)	18.0	23.0	12.0	20.0	8.0	14.0	5.0	13.0	0.0	49.0
	女性50代 (n=100)	7.0	12.0	10.0	15.0	7.0	5.0	4.0	1.0	0.0	65.0
	女性60代 (n=100)	6.0	15.0	10.0	7.0	7.0	6.0	9.0	2.0	2.0	66.0

【全体結果】「職業上の知識・技術・技能の習得、資格の取得」が21%で最も高く、「家庭生活、日常生活、健康など」(17%)が続いた。

一方、「特に行っていない」は、55%であった。

◎性別で見ると、職業上の知識・技術・技能の習得、資格の取得、「スポーツやレクリエーション」は、男性が女性よりも6ポイント以上高かった。一方、「家庭生活、日常生活、健康など」は、女性(20%)が男性(15%)よりも5ポイント高かった。

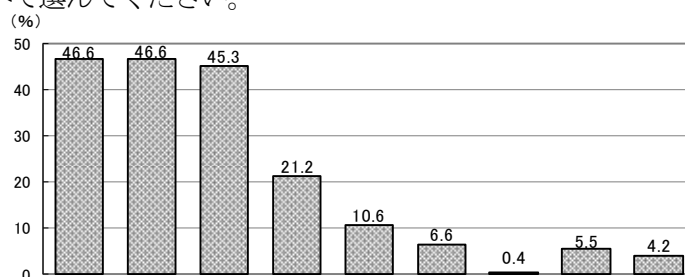
◎年代別で見ると、「職業上の知識・技術・技能の習得、資格の取得」は、年代が下がるにつれ高くなった。

（Q 4で、「特に行っていない」以外を回答した人（生涯学習を行った人）が対象）

Q 5. 生涯学習を通じて身につけた知識や技能の活用方法（複数回答）

あなたは、生涯学習を通じて身につけた知識や技能を、どのように活かしていますか。

以下の中から、あてはまるものをすべて選んでください。



		自分の健康維持・増進に活かしている	仕事や就職に活かしている	家庭や日常生活に活かしている	さらに役に深い知識や技能を身につけるために活かしている	ボランティアなど地域活動に活かしている	他の人の学習やスポーツ、文化活動などの指導に活かしている	その他	活かす機会がない	活かそうとは思わない
全体(n=453)		46.6	46.6	45.3	21.2	10.6	6.6	0.4	5.5	4.2
性別	男性(n=249)	47.0	54.6	41.8	24.5	10.0	7.6	0.0	4.4	2.8
	女性(n=204)	46.1	36.8	49.5	17.2	11.3	5.4	1.0	6.9	5.9
年代別	18-29歳(n=107)	43.9	56.1	46.7	26.2	14.0	11.2	0.0	3.7	4.7
	30代 (n=92)	43.5	54.3	52.2	18.5	7.6	4.3	0.0	5.4	3.3
	40代 (n=92)	42.4	44.6	44.6	19.6	4.3	5.4	1.1	1.1	7.6
	50代 (n=79)	45.6	44.3	39.2	21.5	12.7	5.1	0.0	10.1	5.1
	60代 (n=83)	59.0	30.1	42.2	19.3	14.5	6.0	1.2	8.4	0.0
性・年代別	男性18-29歳(n=64)	35.9	65.6	42.2	28.1	18.8	14.1	0.0	3.1	3.1
	男性30代 (n=51)	39.2	64.7	41.2	21.6	3.9	3.9	0.0	2.0	3.9
	男性40代 (n=41)	43.9	48.8	39.0	24.4	2.4	2.4	0.0	2.4	4.9
	男性50代 (n=44)	47.7	56.8	45.5	22.7	11.4	4.5	0.0	9.1	2.3
	男性60代 (n=49)	71.4	32.7	40.8	24.5	10.2	10.2	0.0	6.1	0.0
	女性18-29歳(n=43)	55.8	41.9	53.5	23.3	7.0	7.0	0.0	4.7	7.0
	女性30代 (n=41)	48.8	41.5	65.9	14.6	12.2	4.9	0.0	9.8	2.4
	女性40代 (n=51)	41.2	41.2	49.0	15.7	5.9	7.8	2.0	0.0	9.8
	女性50代 (n=35)	42.9	28.6	31.4	20.0	14.3	5.7	0.0	11.4	8.6
	女性60代 (n=34)	41.2	26.5	44.1	11.8	20.6	0.0	2.9	11.8	0.0

【全体結果】 この１年間で生涯学習を行った人(453人)に、身につけた知識や技能をどのように活かしているか聞いたところ、「自分の健康維持・増進に活かしている」、「仕事や就職に活かしている」がともに47%で最も高く、「家庭や日常生活に活かしている」(45%)が続いた。

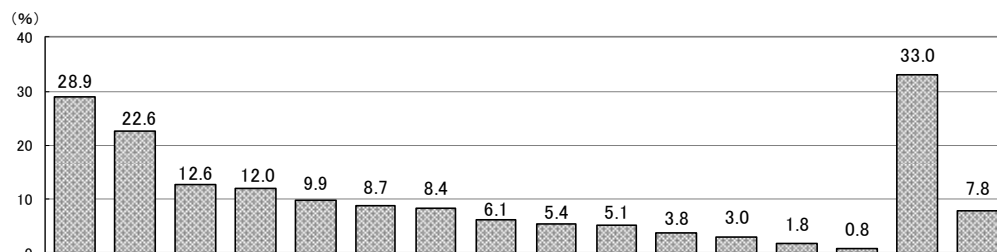
◎性別で見ると、「仕事や就職に活かしている」、「さらに深い知識や技能を身につけるために役に立っている」は、男性が女性よりも8ポイント以上高かった。一方、「家庭や日常生活に活かしている」は、女性(50%)が男性(42%)よりも8ポイント高かった。

◎年代別で見ると、「仕事や就職に活かしている」は、年代が下がるにつれ高くなり、18-29歳で56%となった。

◎性・年代別で見ると、「自分の健康維持・増進に活かしている」は、男性60代(71%)のみ7割を超えた。

Q 6. 生涯学習活動を行う際に支障になること（複数回答）

生涯学習活動を行う際に支障がある方について、どのようなことが支障になりますか。
以下の中から、あてはまるものをすべて選んでください。



		仕事が多忙で時間がない	費用がかかる	家事が多忙で時間がない	きっかけがつかめない	身近なところに施設や場所がない	育児のために時間がない	自分の希望する講座がない	必要な情報が入手できない	生涯学習には関心がない	一緒に学習活動する仲間がない	い、生涯学習について相談する場所がない	親などの介護のために時間がない	家族の理解が得られない	その他	特になし	わからない
全体(n=1000)		28.9	22.6	12.6	12.0	9.9	8.7	8.4	6.1	5.4	5.1	3.8	3.0	1.8	0.8	33.0	7.8
性別	男性(n=500)	35.8	23.4	9.8	10.2	10.2	5.6	8.4	6.4	5.4	5.8	4.4	3.0	2.2	0.6	33.0	6.4
	女性(n=500)	22.0	21.8	15.4	13.8	9.6	11.8	8.4	5.8	5.4	4.4	3.2	3.0	1.4	1.0	33.0	9.2
年代別	18-29歳(n=200)	37.5	24.0	14.5	7.5	9.0	6.0	6.5	5.0	5.5	8.0	5.0	3.0	3.0	0.5	24.5	12.5
	30代 (n=200)	32.5	26.5	21.0	13.5	12.0	20.0	6.5	6.0	4.0	4.5	5.0	3.0	2.0	0.5	28.5	10.5
	40代 (n=200)	34.0	23.5	16.0	11.5	8.0	15.0	9.5	4.5	4.5	5.0	4.0	2.5	2.0	1.0	32.5	5.5
	50代 (n=200)	26.5	24.5	7.0	10.0	8.0	2.0	6.5	6.0	6.5	2.5	2.0	3.5	1.5	1.0	36.0	6.5
	60代 (n=200)	14.0	14.5	4.5	17.5	12.5	0.5	13.0	9.0	6.5	5.5	3.0	3.0	0.5	1.0	43.5	4.0
性・年代別	男性18-29歳(n=100)	40.0	27.0	17.0	5.0	12.0	7.0	9.0	6.0	6.0	9.0	7.0	5.0	5.0	1.0	26.0	11.0
	男性30代 (n=100)	38.0	23.0	17.0	13.0	10.0	12.0	4.0	4.0	5.0	6.0	3.0	1.0	2.0	0.0	30.0	8.0
	男性40代 (n=100)	42.0	20.0	8.0	10.0	6.0	7.0	10.0	5.0	4.0	4.0	4.0	1.0	2.0	0.0	34.0	5.0
	男性50代 (n=100)	38.0	27.0	4.0	10.0	8.0	2.0	8.0	9.0	4.0	4.0	3.0	4.0	1.0	1.0	34.0	5.0
	男性60代 (n=100)	21.0	20.0	3.0	13.0	15.0	0.0	11.0	8.0	8.0	6.0	5.0	4.0	1.0	1.0	41.0	3.0
	女性18-29歳(n=100)	35.0	21.0	12.0	10.0	6.0	5.0	4.0	4.0	5.0	7.0	3.0	1.0	1.0	0.0	23.0	14.0
	女性30代 (n=100)	27.0	30.0	25.0	14.0	14.0	28.0	9.0	8.0	3.0	3.0	7.0	5.0	2.0	1.0	27.0	13.0
	女性40代 (n=100)	26.0	27.0	24.0	13.0	10.0	23.0	9.0	4.0	5.0	6.0	4.0	4.0	2.0	2.0	31.0	6.0
	女性50代 (n=100)	15.0	22.0	10.0	10.0	8.0	2.0	5.0	3.0	9.0	1.0	1.0	3.0	2.0	1.0	38.0	8.0
	女性60代 (n=100)	7.0	9.0	6.0	22.0	10.0	1.0	15.0	10.0	5.0	5.0	1.0	2.0	0.0	1.0	46.0	5.0

【全体結果】「仕事が多忙で時間がない」が29%で最も高く、「費用がかかる」(23%)が続いた。

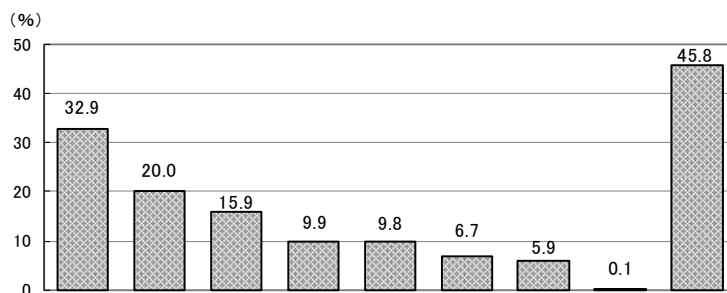
◎性別で見ると、「仕事が多忙で時間がない」は、男性(36%)が女性(22%)よりも14ポイント高かった。

◎年代別で見ると、「仕事が多忙で時間がない」は、年代が下がるにつれ高くなる傾向があり、18-29歳で38%となった。

Q 7. 生涯学習に関する情報の入手方法（複数回答）

あなたは、生涯学習に関する情報をどのように得ていますか。

以下の中から、あてはまるものをすべて選んでください。



		インターネット、SNS（生涯学習情報システムを含む）	市報、さいたま、生涯学習情報誌、公民館報、自治会掲示板、回覧板	新聞、雑誌、テレビ、ラジオ	家族、友人、知人などから	市役所や公民館などの公共施設（ポスター・チラシなどを含む）	学校や職場（ポスター・チラシなどを含む）	駅や路上、商業施設など（ポスター・チラシなどを含む）	その他	特に情報を得ていない
全体(n=1000)		32.9	20.0	15.9	9.9	9.8	6.7	5.9	0.1	45.8
性別	男性(n=500)	37.0	17.0	20.0	7.8	11.2	7.8	7.6	0.2	43.2
	女性(n=500)	28.8	23.0	11.8	12.0	8.4	5.6	4.2	0.0	48.4
年代別	18-29歳(n=200)	37.5	10.0	12.0	12.5	12.0	9.0	11.5	0.0	44.5
	30代 (n=200)	35.5	12.0	10.0	6.0	7.0	8.0	7.5	0.0	49.0
	40代 (n=200)	38.5	20.0	14.5	7.0	8.0	8.0	5.0	0.0	45.0
	50代 (n=200)	26.0	22.0	22.0	8.0	8.5	5.5	1.5	0.0	50.0
	60代 (n=200)	27.0	36.0	21.0	16.0	13.5	3.0	4.0	0.5	40.5
性・年代別	男性18-29歳(n=100)	49.0	11.0	18.0	12.0	17.0	15.0	20.0	0.0	33.0
	男性30代 (n=100)	39.0	10.0	9.0	3.0	8.0	7.0	7.0	0.0	44.0
	男性40代 (n=100)	32.0	18.0	14.0	3.0	7.0	7.0	4.0	0.0	50.0
	男性50代 (n=100)	30.0	15.0	26.0	8.0	7.0	6.0	1.0	0.0	48.0
	男性60代 (n=100)	35.0	31.0	33.0	13.0	17.0	4.0	6.0	1.0	41.0
	女性18-29歳(n=100)	26.0	9.0	6.0	13.0	7.0	3.0	3.0	0.0	56.0
	女性30代 (n=100)	32.0	14.0	11.0	9.0	6.0	9.0	8.0	0.0	54.0
	女性40代 (n=100)	45.0	22.0	15.0	11.0	9.0	9.0	6.0	0.0	40.0
	女性50代 (n=100)	22.0	29.0	18.0	8.0	10.0	5.0	2.0	0.0	52.0
	女性60代 (n=100)	19.0	41.0	9.0	19.0	10.0	2.0	2.0	0.0	40.0

【全体結果】「インターネット、SNS（生涯学習情報システムを含む）」が33%で最も高く、「市報さいたま、生涯学習情報誌、公民館報、自治会掲示板、回覧板」（20%）、「新聞、雑誌、テレビ、ラジオ」（16%）が続いた。

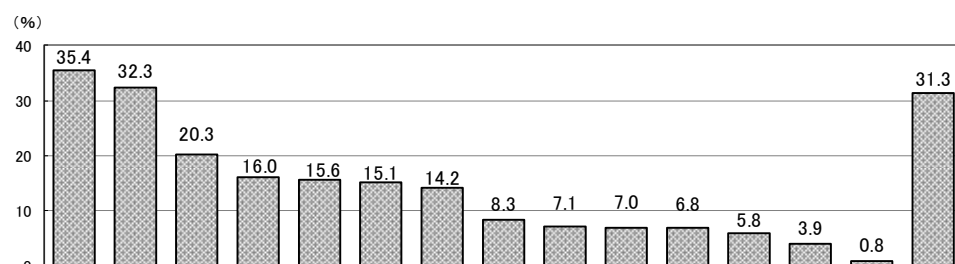
◎性別で見ると、「インターネット、SNS（生涯学習情報システムを含む）」、「新聞、雑誌、テレビ、ラジオ」は、男性が女性よりも8ポイント高かった。一方、「市報さいたま、生涯学習情報誌、公民館報、自治会掲示板、回覧板」は、女性(23%)が男性(17%)よりも6ポイント高かった。

◎性・年代別で見ると、「市報さいたま、生涯学習情報誌、公民館報、自治会掲示板、回覧板」は、女性では年代が上がるにつれ高くなり、60代で41%となった。

Q 8. 関心のある学習テーマ（複数回答）

あなたが、社会や地域の課題の中で、関心のある学習テーマは何ですか。

以下の中から、あてはまるものをすべて選んでください。



		健康 (保健・医療・福祉)	防災・防犯	子育て・家庭教育	地域の歴史・文化・自然	まちづくり・地域づくり	環境保護	少子高齢化	国際交流	障害者福祉	人権	世代間交流	青少年の健全育成	男女共同参画	その他	特になし
全体(n=1000)		35.4	32.3	20.3	16.0	15.6	15.1	14.2	8.3	7.1	7.0	6.8	5.8	3.9	0.8	31.3
性別	男性(n=500)	31.0	31.4	18.2	17.8	18.6	15.4	15.4	5.6	6.4	6.0	8.6	6.4	2.8	1.0	31.4
	女性(n=500)	39.8	33.2	22.4	14.2	12.6	14.8	13.0	11.0	7.8	8.0	5.0	5.2	5.0	0.6	31.2
年代別	18-29歳(n=200)	27.5	25.0	23.5	18.5	18.0	12.5	17.5	10.5	8.0	11.5	7.0	10.0	7.5	0.5	30.5
	30代 (n=200)	27.0	29.5	35.5	13.0	14.0	12.0	13.5	7.0	5.0	6.5	4.0	7.0	5.5	0.0	34.0
	40代 (n=200)	35.0	34.5	27.0	13.5	16.5	15.0	15.0	6.0	5.5	4.5	6.5	5.5	1.5	0.5	32.5
	50代 (n=200)	33.0	33.0	10.0	16.0	12.0	13.0	10.5	9.0	7.5	4.5	6.0	4.0	1.5	1.5	36.5
	60代 (n=200)	54.5	39.5	5.5	19.0	17.5	23.0	14.5	9.0	9.5	8.0	10.5	2.5	3.5	1.5	23.0
性・年代別	男性18-29歳(n=100)	28.0	24.0	24.0	24.0	18.0	12.0	22.0	8.0	9.0	10.0	10.0	14.0	6.0	0.0	28.0
	男性30代 (n=100)	17.0	22.0	31.0	13.0	15.0	11.0	13.0	2.0	3.0	7.0	5.0	6.0	3.0	0.0	36.0
	男性40代 (n=100)	28.0	32.0	19.0	16.0	16.0	15.0	10.0	3.0	3.0	2.0	11.0	5.0	1.0	1.0	38.0
	男性50代 (n=100)	33.0	37.0	14.0	18.0	19.0	14.0	16.0	5.0	10.0	5.0	7.0	6.0	1.0	3.0	31.0
	男性60代 (n=100)	49.0	42.0	3.0	18.0	25.0	25.0	16.0	10.0	7.0	6.0	10.0	1.0	3.0	1.0	24.0
	女性18-29歳(n=100)	27.0	26.0	23.0	13.0	18.0	13.0	13.0	13.0	7.0	13.0	4.0	6.0	9.0	1.0	33.0
	女性30代 (n=100)	37.0	37.0	40.0	13.0	13.0	13.0	14.0	12.0	7.0	6.0	3.0	8.0	8.0	0.0	32.0
	女性40代 (n=100)	42.0	37.0	35.0	11.0	17.0	15.0	20.0	9.0	8.0	7.0	2.0	6.0	2.0	0.0	27.0
	女性50代 (n=100)	33.0	29.0	6.0	14.0	5.0	12.0	5.0	13.0	5.0	4.0	5.0	2.0	2.0	0.0	42.0
	女性60代 (n=100)	60.0	37.0	8.0	20.0	10.0	21.0	13.0	8.0	12.0	10.0	11.0	4.0	4.0	2.0	22.0

【全体結果】「健康 (保健・医療・福祉)」が35%で最も高く、「防災・防犯」(32%)が続いた。

◎性別で見ると、「健康 (保健・医療・福祉)」、「国際交流」は、女性が男性よりも5ポイント以上高かった。一方、「まちづくり・地域づくり」は、男性(19%)が女性(13%)よりも6ポイント高かった。

◎年代別で見ると、「防災・防犯」は、年代が上がるにつれ高くなる傾向があり、60代で40%となった。

◎性・年代別で見ると、「健康 (保健・医療・福祉)」は、女性60代(60%)のみ6割であった。

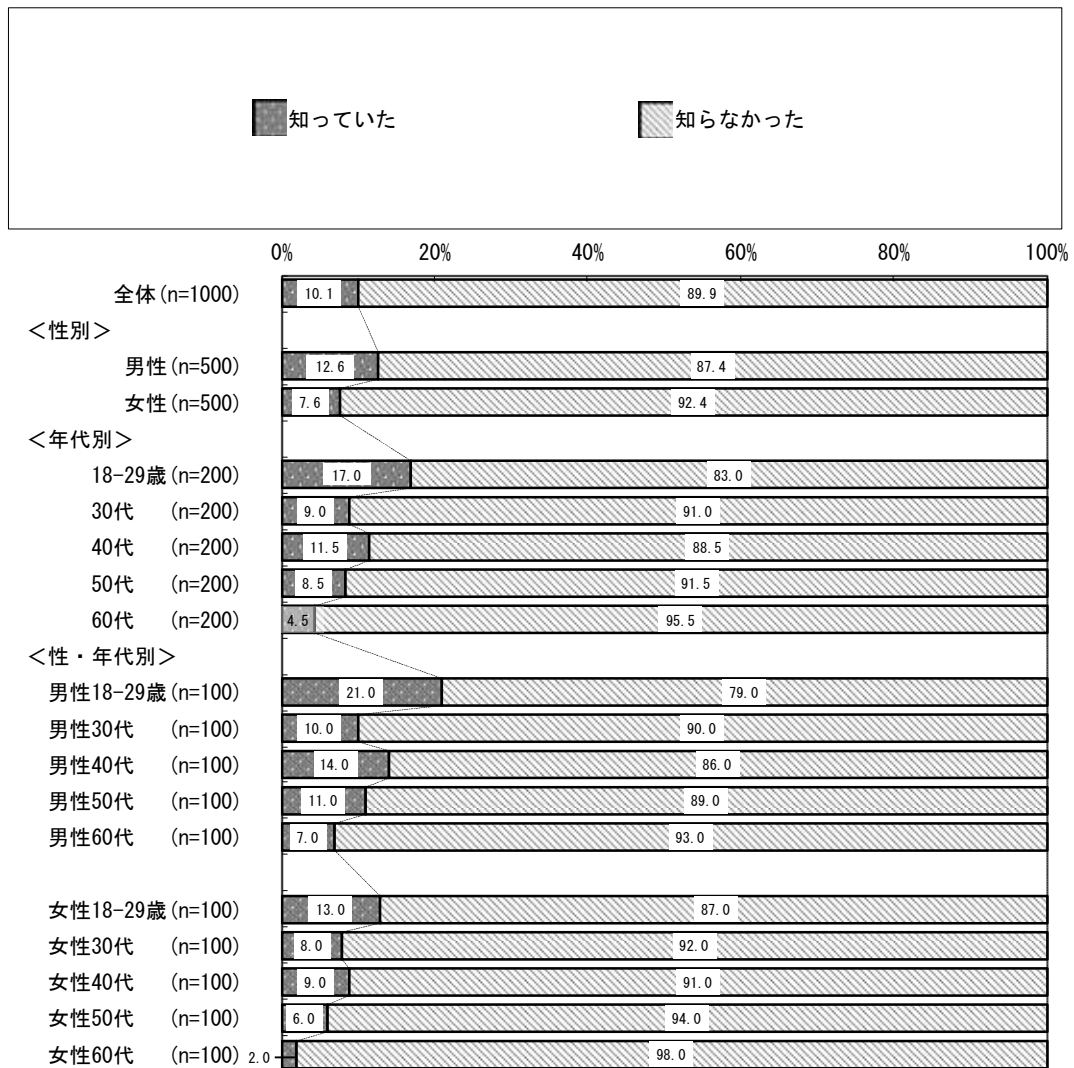
【道路消毒について】

Q9. 浸水家屋の感染症対策に関する国の通知の認知度

あなたは、浸水した家屋の感染症対策について、国が「感染症予防のためには清掃と乾燥が最も重要です」

「屋外（床下や庭）では消毒は原則不要です」とお知らせしていることは知っていましたか。

以下の中から、あてはまるものを1つだけ選んでください。



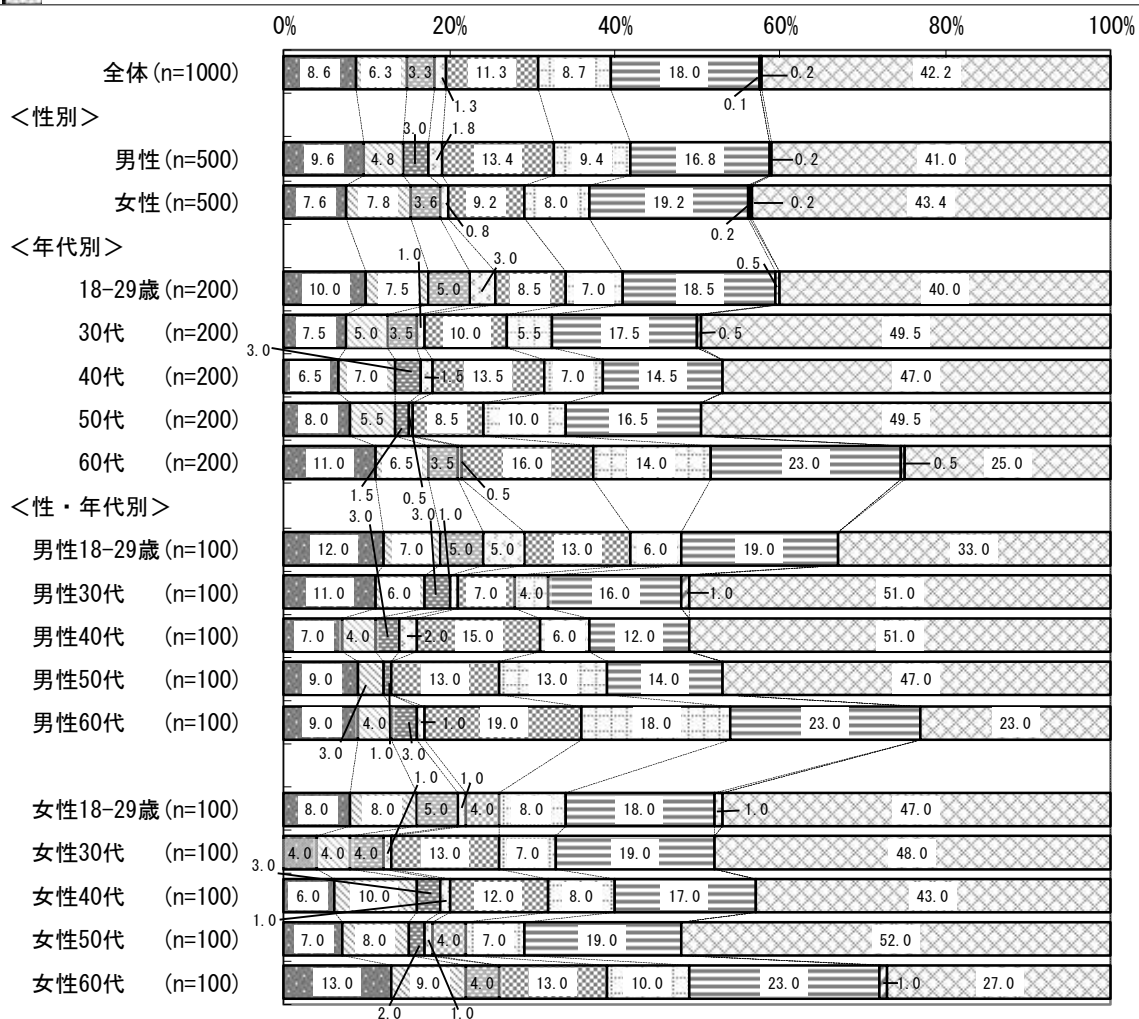
【全体結果】「知っていた」は10%であった。

- ◎性別で見ると、「知っていた」は、男性(13%)が女性(8%)よりも5ポイント高かった。
- ◎年代別で見ると、「知っていた」は、年代が下がるにつれ高くなる傾向があり、18-29歳で17%となった。
- ◎性・年代別で見ると、「知っていた」は、男性18-29歳(21%)のみ2割を超えた。

Q10. 薬剤散布による道路消毒についてどう思うか

あなたは、薬剤散布による道路消毒が行われることについて、どう思いますか。
以下の中から、最もあてはまるものを1つだけ選んでください。

	屋外の消毒は原則不要とする国のお知らせがあるなら道路も必要性を感じない
	薬剤による人やペットへの影響が心配なため必要性を感じない
	薬剤による庭木や草花などの生活環境への影響が心配なため必要性を感じない
	薬剤の適正使用（用法用量を守る）をしていても薬剤のにおいが気になるので必要性を感じない
	道路を清潔に保つため薬剤散布をしてほしい
	消毒による安心感が得られるため薬剤散布をしてほしい
	薬剤の適正使用（用法用量を守る）をしていれば問題ないと思うので薬剤散布をしてほしい
	上記以外の理由により道路への薬剤散布の必要性を感じない
	上記以外の理由により道路への薬剤散布をしてほしい
	わからない／判断できない



【全体結果】「薬剤の適正使用（用法用量を守る）をしていれば問題ないと思うので薬剤散布をしてほしい」が18%で最も高く、「道路を清潔に保つため薬剤散布をしてほしい」が11%、「屋外の消毒は原則不要とする国のお知らせがあるなら道路も必要性を感じない」、「消毒による安心感が得られるため薬剤散布をしてほしい」がともに9%であった。

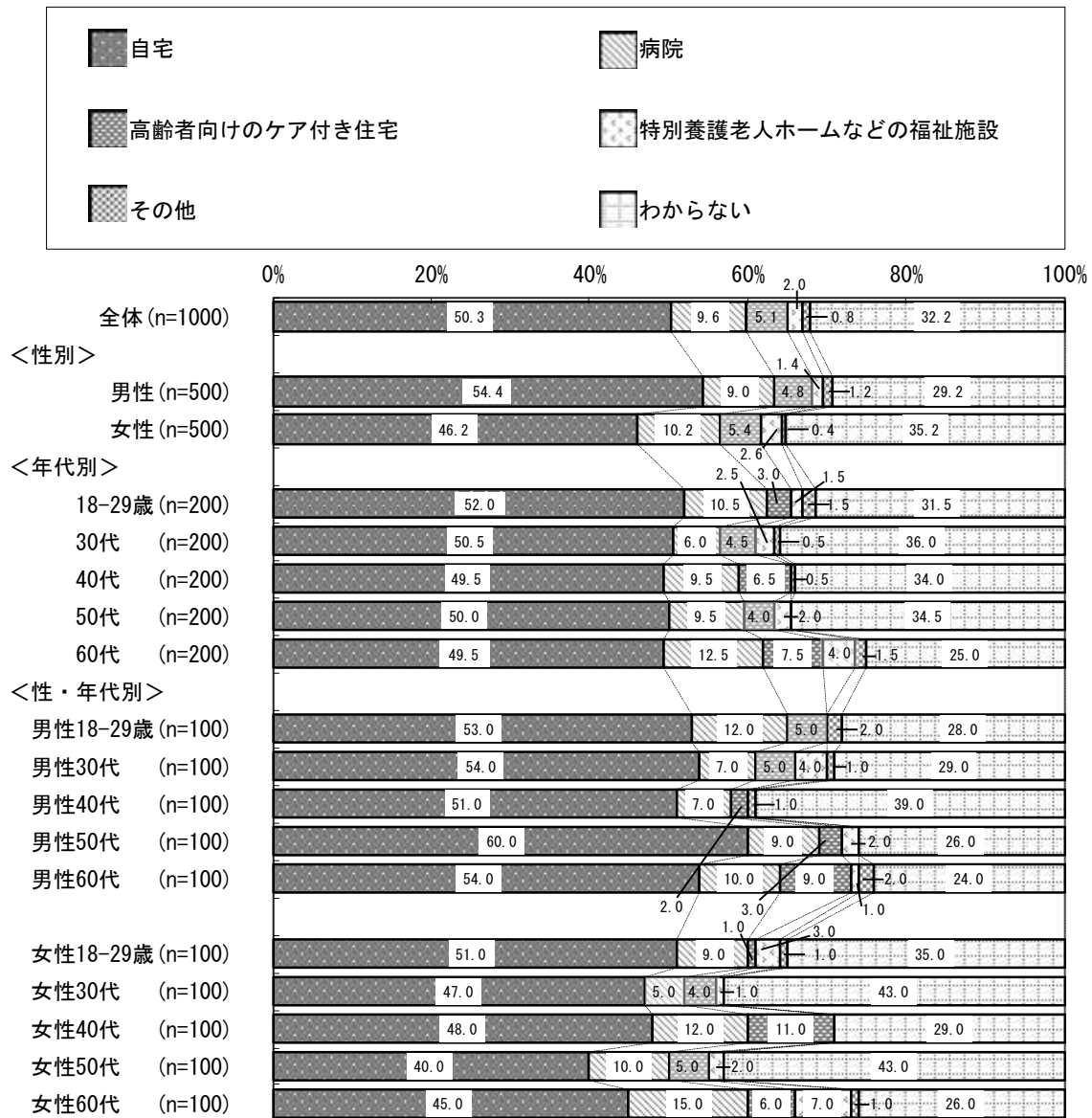
◎年代別で見ると、「薬剤の適正使用（用法用量を守る）をしていれば問題ないと思うので薬剤散布をしてほしい」は、60代(23%)のみ2割を超えた。

【在宅医療について】

Q 1 1. 人生の最後を迎えたい場所

あなたが、人生の最後を迎えたい場所はどこですか。

以下の中から、あてはまるものを1つだけ選んでください。



【全体結果】「自宅」が50%で最も高く、「病院」が10%、「高齢者向けのケア付き住宅」が5%であった。

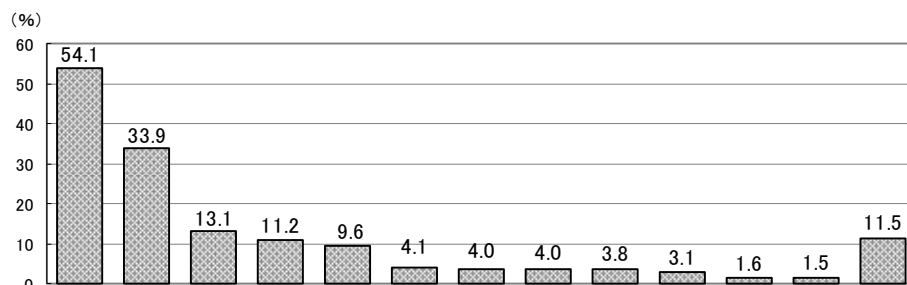
◎性別で見ると、「自宅」は、男性(54%)が女性(46%)よりも8ポイント高かった。

(Q11で、「わからない」以外を回答した人が対象)

Q12. 人生の最後を迎えたい場所を選んだ理由(複数回答)

あなたが、人生の最後を迎えたい場所を選んだ理由は何ですか。

以下の中から、あてはまるものをすべて選んでください。



		住み慣れた場所 で最後を迎え たいから	家族等との 時間を多く したいから	介護してく れる家族等 に負担がか かるから	病院や福祉 施設の方が 、専門家 によるサポ ートを受け られて安心 できるから	病院は経済 的に負担が 大きいから	症状が急に 悪くなった 時にすぐに 病院に入院 できるか不 安だから	症状が急に 悪くなった 時にすぐに 病院に入院 できる体制 が整ってい るから	介護してく れる家族等 がないから	症状が急に 悪くなった 時にすぐに 医師や看護 師が訪問し てくれるか ら	症状が急に 悪くなった 時にすぐに 医師や看護 師の訪問が 受けられる か不安だ から	定期的に 訪問してく れる医師が いるから	その他	特に理由 はない／な んとなく
全体(n=678)		54.1	33.9	13.1	11.2	9.6	4.1	4.0	4.0	3.8	3.1	1.6	1.5	11.5
性別	男性(n=354)	55.1	30.5	11.3	9.6	9.3	2.8	4.8	4.5	3.1	3.1	0.6	0.8	15.3
	女性(n=324)	53.1	37.7	15.1	13.0	9.9	5.6	3.1	3.4	4.6	3.1	2.8	2.2	7.4
年代別	18-29歳(n=137)	51.1	39.4	8.8	13.1	8.8	5.8	9.5	3.6	2.2	4.4	2.2	1.5	12.4
	30代 (n=128)	57.8	38.3	10.9	10.9	14.1	1.6	2.3	1.6	3.9	1.6	2.3	1.6	13.3
	40代 (n=132)	54.5	32.6	15.2	9.8	9.1	5.3	1.5	6.1	6.8	5.3	2.3	0.8	10.6
	50代 (n=131)	54.2	29.0	13.7	7.6	9.9	4.6	4.6	3.1	3.1	2.3	0.0	0.8	13.0
	60代 (n=150)	53.3	30.7	16.7	14.0	6.7	3.3	2.0	5.3	3.3	2.0	1.3	2.7	8.7
性・年代別	男性18-29歳(n=72)	45.8	36.1	11.1	16.7	11.1	6.9	12.5	6.9	4.2	8.3	1.4	1.4	19.4
	男性30代 (n=71)	49.3	29.6	8.5	8.5	12.7	0.0	2.8	0.0	4.2	1.4	1.4	0.0	22.5
	男性40代 (n=61)	60.7	31.1	8.2	6.6	6.6	1.6	1.6	6.6	3.3	3.3	0.0	0.0	14.8
	男性50代 (n=74)	59.5	23.0	16.2	4.1	10.8	2.7	5.4	4.1	2.7	2.7	0.0	0.0	12.2
	男性60代 (n=76)	60.5	32.9	11.8	11.8	5.3	2.6	1.3	5.3	1.3	0.0	0.0	2.6	7.9
	女性18-29歳(n=65)	56.9	43.1	6.2	9.2	6.2	4.6	6.2	0.0	0.0	0.0	3.1	1.5	4.6
	女性30代 (n=57)	68.4	49.1	14.0	14.0	15.8	3.5	1.8	3.5	3.5	1.8	3.5	3.5	1.8
	女性40代 (n=71)	49.3	33.8	21.1	12.7	11.3	8.5	1.4	5.6	9.9	7.0	4.2	1.4	7.0
	女性50代 (n=57)	47.4	36.8	10.5	12.3	8.8	7.0	3.5	1.8	3.5	1.8	0.0	1.8	14.0
	女性60代 (n=74)	45.9	28.4	21.6	16.2	8.1	4.1	2.7	5.4	5.4	4.1	2.7	2.7	9.5

【全体結果】人生の最後を迎えたい場所を選んだ人(678人)に、選んだ理由を聞いたところ、「住み慣れた場所で最後を迎えたいから」が54%で最も高く、「家族等との時間を多くしたいから」(34%)が続いた。

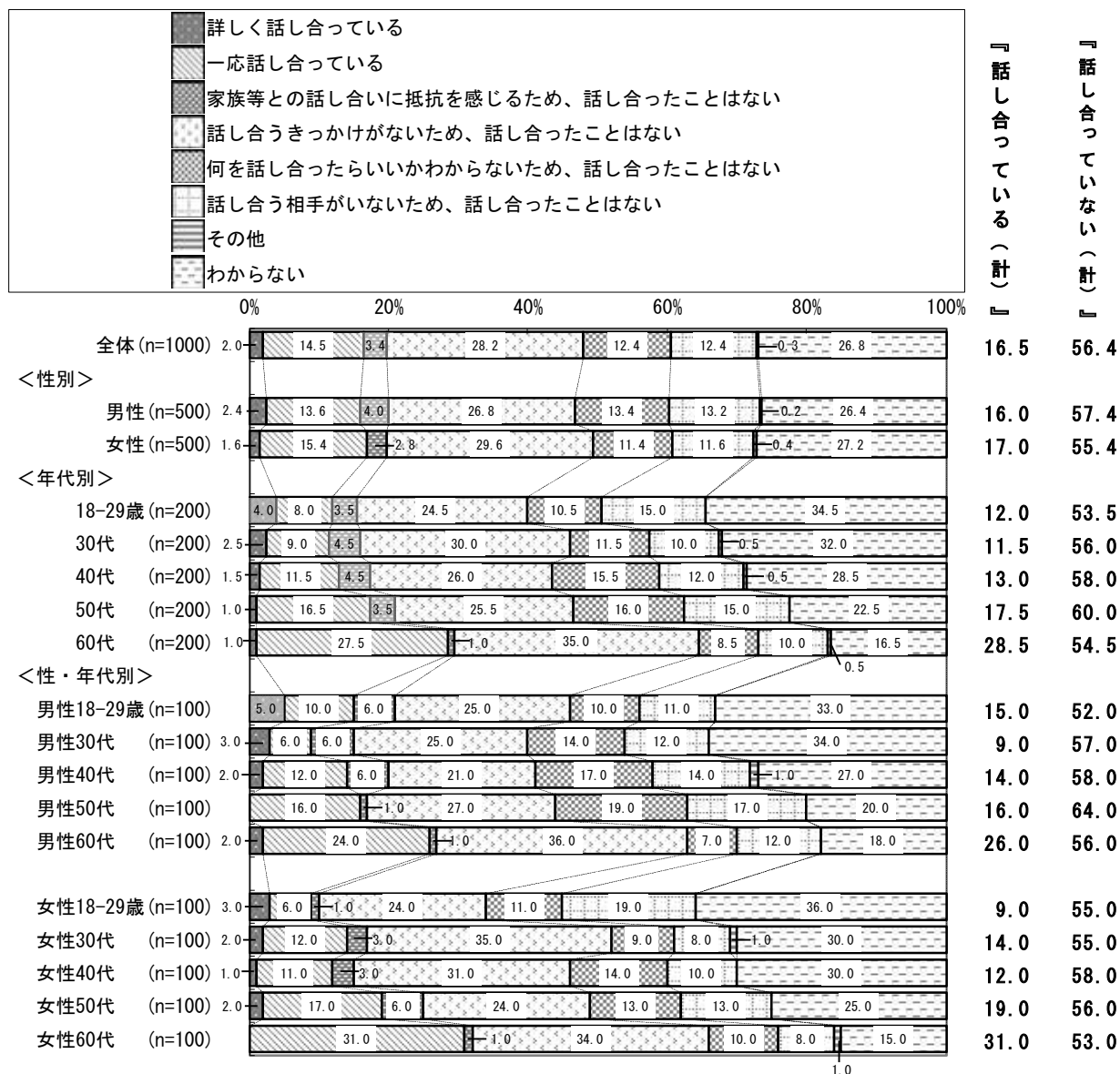
◎性別で見ると、「家族等との時間を多くしたいから」は、女性(38%)が男性(31%)よりも7ポイント高かった。

◎年代別で見ると、「介護してくれる家族等に負担がかかるから」は、年代が上がるにつれ高くなる傾向があり、60代で17%となった。

Q 13. 人生の最終段階に受けた医療・ケアについて、話し合ったことがあるか

あなたが、人生の最終段階において受けた医療・ケアについて、家族等や医療関係者と話し合ったことがありますか。

以下の中から、あてはまるものを1つだけ選んでください。



【全体結果「詳しく話し合っている」(2%)と「一応話し合っている」(15%)を合わせた『話し合っている(計)』は、17%であった。

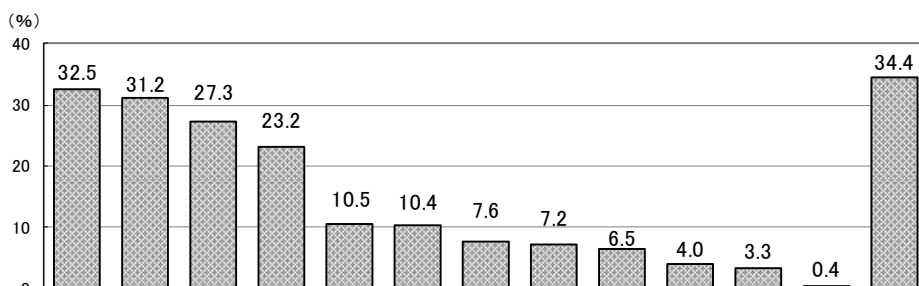
また、「家族等との話し合いに抵抗を感じるため、話し合ったことはない」(3%)と「話し合うきっかけがないため、話し合ったことはない」(28%)と「何を話し合ったらいいかわからないため、話し合ったことはない」(12%)と「話し合う相手がいないため、話し合ったことはない」(12%)を合わせた『話し合っていない(計)』は、56%であった。

◎性・年代別で見ると、『話し合っている(計)』は、女性では年代が上がるにつれ高くなる傾向があり、60代では31%となった。

Q14. 人生の最終段階における医療・ケアについて話し合うきっかけ（複数回答）

あなたが、家族等や医療従事者と人生の最終段階における医療・ケアについて話し合うきっかけがあれば、どのような出来事だと思いますか。

以下の中から、あてはまるものをすべて選んでください。



		ご家族等の病気	自分の病気	ご家族等の死	ご家族等の介護	還暦	退職	機会を得た時	医療・介護従事者による説明や相談の	誕生日	等から情報を得た時	人生の最終段階についてメディア・ネット	結婚	妊娠・出産（配偶者の場合も含む）	その他	特になし／わからない
全体(n=1000)		32.5	31.2	27.3	23.2	10.5	10.4	7.6	7.2	6.5	4.0	3.3	0.4	34.4		
性別	男性(n=500)	26.4	30.0	23.4	19.6	10.4	12.4	7.2	8.8	4.6	4.4	3.4	0.0	35.2		
	女性(n=500)	38.6	32.4	31.2	26.8	10.6	8.4	8.0	5.6	8.4	3.6	3.2	0.8	33.6		
年代別	18-29歳(n=200)	35.5	27.5	27.5	20.5	16.5	14.5	5.0	13.5	7.0	8.0	9.5	0.0	34.0		
	30代 (n=200)	34.5	30.0	30.0	25.0	15.5	12.5	6.0	4.5	8.5	5.5	5.5	0.0	39.5		
	40代 (n=200)	36.0	34.0	30.0	27.0	10.5	8.0	10.0	5.5	7.0	3.5	1.5	0.0	35.5		
	50代 (n=200)	27.0	25.0	22.5	20.0	6.0	8.5	5.5	5.5	4.0	1.5	0.0	1.0	36.5		
	60代 (n=200)	29.5	39.5	26.5	23.5	4.0	8.5	11.5	7.0	6.0	1.5	0.0	1.0	26.5		
性・年代別	男性18-29歳(n=100)	29.0	23.0	24.0	18.0	17.0	18.0	8.0	16.0	9.0	8.0	12.0	0.0	36.0		
	男性30代 (n=100)	28.0	25.0	25.0	18.0	13.0	13.0	4.0	5.0	3.0	5.0	4.0	0.0	42.0		
	男性40代 (n=100)	27.0	33.0	21.0	20.0	10.0	10.0	8.0	7.0	4.0	6.0	1.0	0.0	37.0		
	男性50代 (n=100)	22.0	25.0	17.0	17.0	7.0	11.0	4.0	6.0	3.0	2.0	0.0	0.0	39.0		
	男性60代 (n=100)	26.0	44.0	30.0	25.0	5.0	10.0	12.0	10.0	4.0	1.0	0.0	0.0	22.0		
	女性18-29歳(n=100)	42.0	32.0	31.0	23.0	16.0	11.0	2.0	11.0	5.0	8.0	7.0	0.0	32.0		
	女性30代 (n=100)	41.0	35.0	35.0	32.0	18.0	12.0	8.0	4.0	14.0	6.0	7.0	0.0	37.0		
	女性40代 (n=100)	45.0	35.0	39.0	34.0	11.0	6.0	12.0	4.0	10.0	1.0	2.0	0.0	34.0		
	女性50代 (n=100)	32.0	25.0	28.0	23.0	5.0	6.0	7.0	5.0	5.0	1.0	0.0	2.0	34.0		
	女性60代 (n=100)	33.0	35.0	23.0	22.0	3.0	7.0	11.0	4.0	8.0	2.0	0.0	2.0	31.0		

【全体結果】「ご家族等の病気」が33%で最も高く、「自分の病気」(31%)、「ご家族等の死」(27%)、「ご家族等の介護」(23%)が続いた。

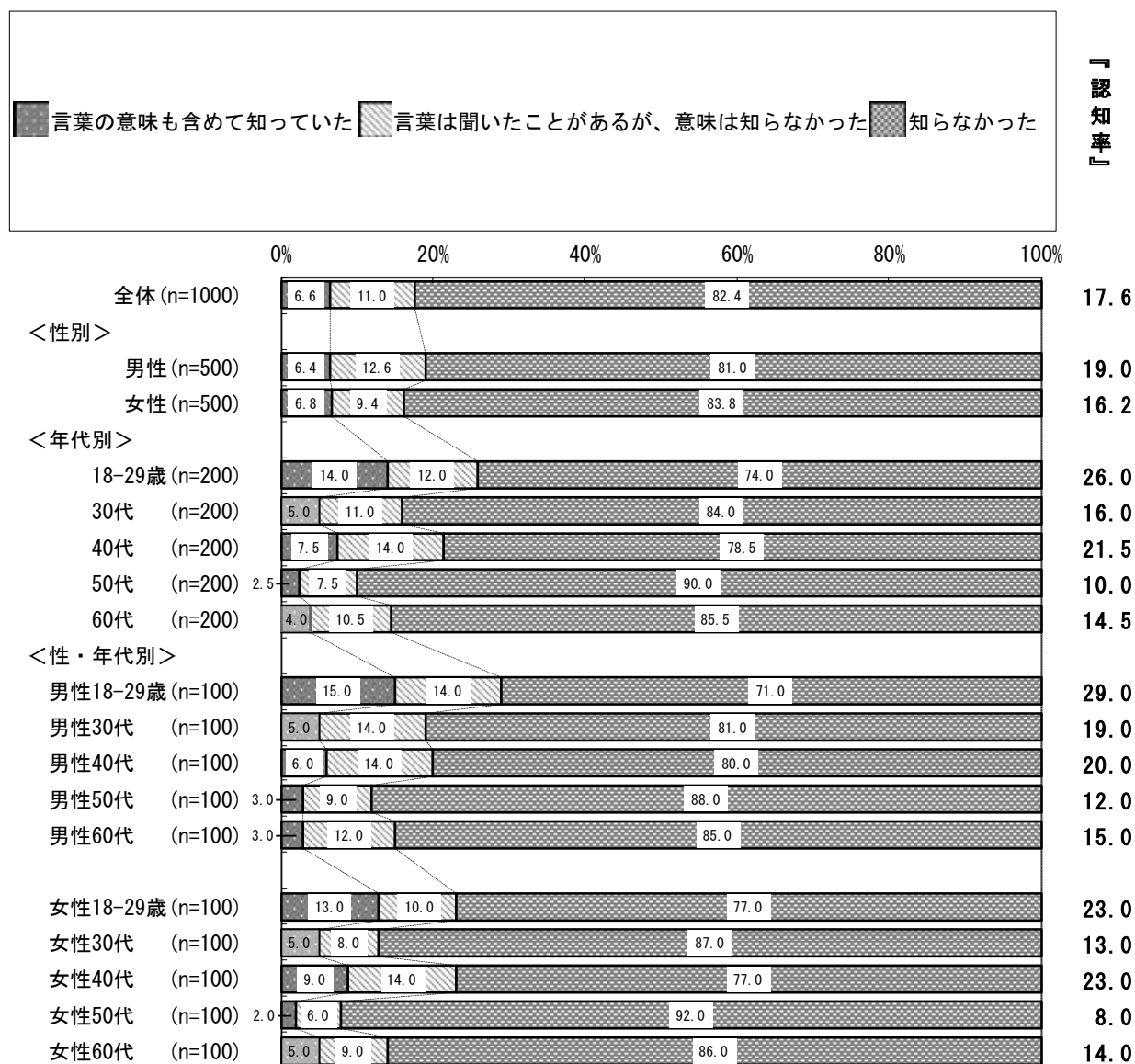
◎性別で見ると、「ご家族等の病気」、「ご家族等の死」、「ご家族等の介護」は、女性が男性よりも7ポイント以上高かった。

Q15. アドバンス・ケア・プランニングの認知度

将来の人生をどのように過ごして、どのような医療や介護を受けて最期を迎えるかを計画し、ご自身の考えをご家族や近しい人、医療やケアの担当者にあらかじめ表しておく取組をアドバンス・ケア・プランニング（ACP＝人生会議）といいます。

あなたは、アドバンス・ケア・プランニング（ACP＝人生会議）について、知っていましたか。

以下の中から、あてはまるものを1つだけ選んでください。

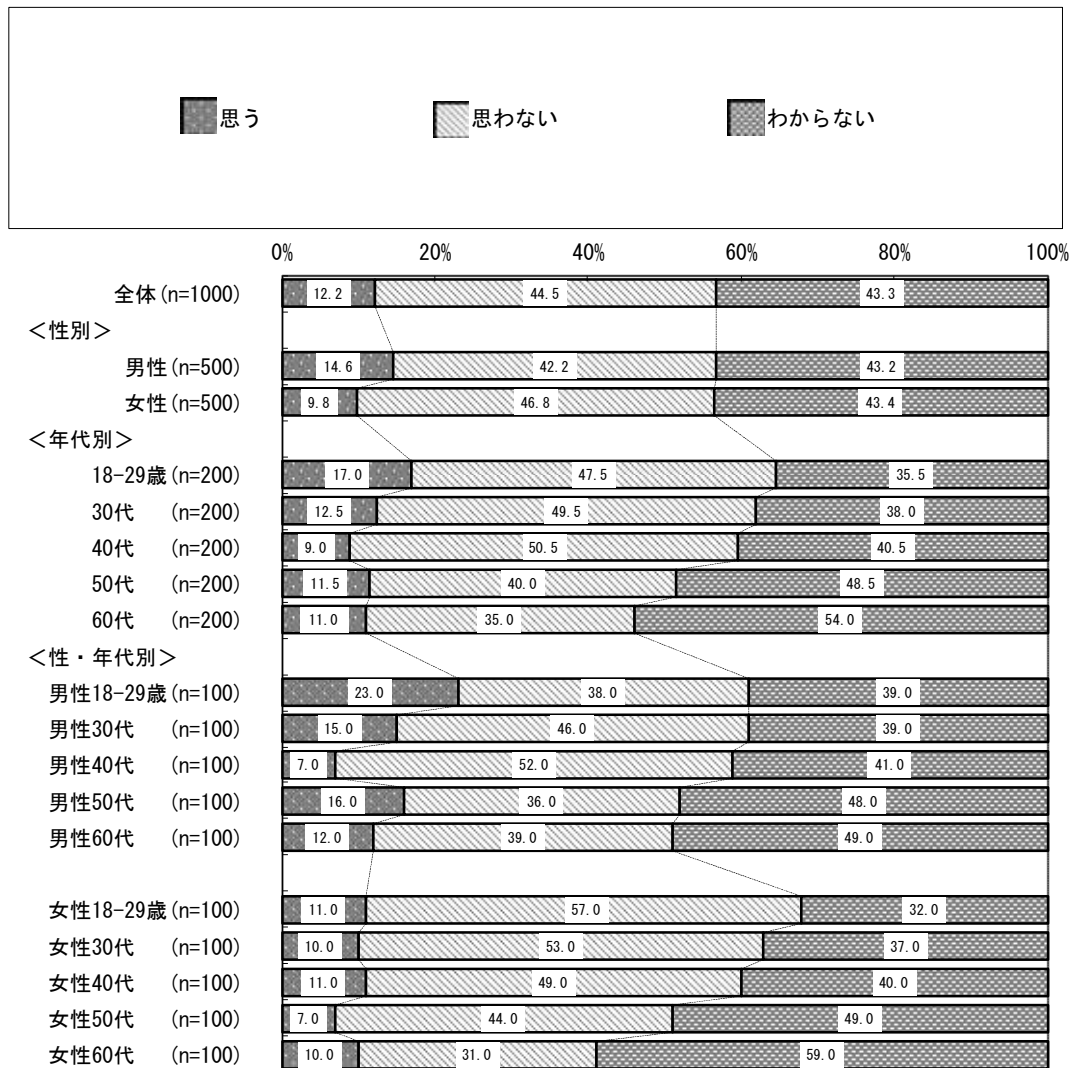


【全体結果】「言葉の意味も含めて知っていた」（7%）と「言葉は聞いたことがあるが、意味は知らなかった」（11%）を合わせた『認知率』は、18%であった。

【再犯防止の推進について】

Q 1 6. 犯罪をした人等の立ち直りへの協力意向

あなたは、犯罪をした人等の立ち直りに協力したいと思いますか。
以下の中から、あてはまるものを1つだけ選んでください。

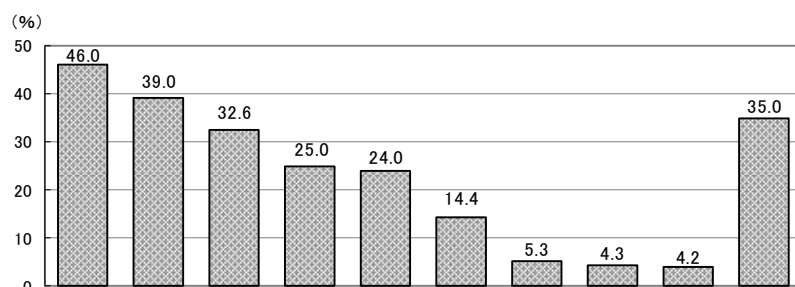


【全体結果】「思う」は12%であった。

- ◎性別で見ると、「思う」は、男性(15%)が女性(10%)よりも5ポイント高かった。一方、「思わない」は、女性(47%)が男性(42%)よりも5ポイント高かった。
- ◎性・年代別で見ると、「思わない」は、女性では年代が下がるにつれ高くなり、18-29歳で57%となった。

Q 17. 再犯防止等に関する用語の認知度（複数回答）

あなたが、再犯防止等に関する用語のうち、内容を知っていたものはありますか。
以下の中から、あてはまるものすべてを選んでください。



		保護司	矯正施設	保護観察所	更生保護施設	更生保護	協力雇用主	再犯の防止等の推進に関する法律	社会を明るくする運動	さいたま市再犯防止推進計画	この中に知っていたものはない
全体(n=1000)		46.0	39.0	32.6	25.0	24.0	14.4	5.3	4.3	4.2	35.0
性別	男性(n=500)	43.2	36.8	33.8	25.4	24.6	13.2	6.4	4.4	4.2	35.8
	女性(n=500)	48.8	41.2	31.4	24.6	23.4	15.6	4.2	4.2	4.2	34.2
年代別	18-29歳(n=200)	30.0	31.0	28.5	26.5	26.5	10.0	6.0	7.5	6.5	41.0
	30代 (n=200)	31.0	26.5	24.5	21.0	20.5	8.0	4.5	4.5	2.5	50.0
	40代 (n=200)	46.5	43.0	39.0	26.5	27.5	17.0	3.0	3.5	5.5	34.0
	50代 (n=200)	51.5	41.5	31.5	20.0	21.0	14.0	4.0	3.0	3.5	30.0
	60代 (n=200)	71.0	53.0	39.5	31.0	24.5	23.0	9.0	3.0	3.0	20.0
性・年代別	男性18-29歳(n=100)	30.0	37.0	36.0	30.0	31.0	13.0	7.0	10.0	5.0	37.0
	男性30代 (n=100)	29.0	24.0	19.0	19.0	19.0	5.0	6.0	6.0	3.0	52.0
	男性40代 (n=100)	45.0	37.0	40.0	25.0	23.0	16.0	2.0	0.0	4.0	35.0
	男性50代 (n=100)	46.0	37.0	31.0	22.0	24.0	12.0	6.0	4.0	5.0	33.0
	男性60代 (n=100)	66.0	49.0	43.0	31.0	26.0	20.0	11.0	2.0	4.0	22.0
	女性18-29歳(n=100)	30.0	25.0	21.0	23.0	22.0	7.0	5.0	5.0	8.0	45.0
	女性30代 (n=100)	33.0	29.0	30.0	23.0	22.0	11.0	3.0	3.0	2.0	48.0
	女性40代 (n=100)	48.0	49.0	38.0	28.0	32.0	18.0	4.0	7.0	7.0	33.0
	女性50代 (n=100)	57.0	46.0	32.0	18.0	18.0	16.0	2.0	2.0	2.0	27.0
	女性60代 (n=100)	76.0	57.0	36.0	31.0	23.0	26.0	7.0	4.0	2.0	18.0

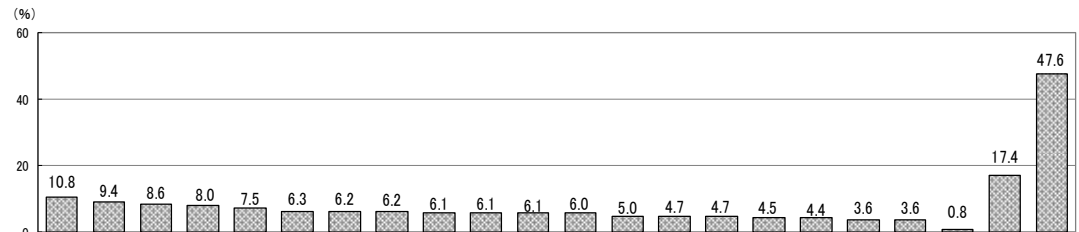
【全体結果】「保護司」が46%で最も高く、「矯正施設」(39%)、「保護観察所」(33%)が続いた。

- ◎性別で見ると、「保護司」は、女性(49%)が男性(43%)よりも6ポイント高かった。
- ◎年代別で見ると、「保護司」は、年代が上がるにつれ高くなり、60代で71%となった。
- ◎性・年代別で見ると、「矯正施設」は、女性では年代が上がるにつれ高くなる傾向があり、60代では57%となった。

【市の情報取得について】

Q 18. 取得できなかった市の情報（複数回答）

必要としていた市の情報が取得できなかった方について、取得できなかった情報は何か。
以下の中から、あてはまるものをすべて選んでください。



	道路や駅前の今後の整備計画	災害が起こりやすい危険箇所の情報	予防接種や夜間当番医などの医療情報	窓口での手続き方法や持ち物	福祉サービスに関する情報	市の総合計画、市の将来像	市内で開催される観光・スポーツ・文化イベントの情報	市内の見どころや特産物などの地域情報	事故・防犯に関する情報	公共施設の新設・補修・廃止計画	公園やプールなどの遊び場の情報	ごみの出し方やリサイクルの情報	市民活動やボランティアに関する情報	予算・決算などの市の財政状況	就労支援や職業紹介	子育てや教育に関する情報	運動や食事などの健康維持に関する情報	公民館や体育館などでの市民向け講座の情報	環境保全への取組に関する情報	その他	わからない	取得できなかったものはない
全体(n=1000)	10.8	9.4	8.6	8.0	7.5	6.3	6.2	6.2	6.1	6.1	6.1	6.0	5.0	4.7	4.7	4.5	4.4	3.6	3.6	0.8	17.4	47.6
性別																						
男性(n=500)	10.8	9.0	10.0	8.2	7.4	6.8	7.0	5.4	6.0	5.6	5.6	6.6	4.8	4.4	5.0	3.6	4.4	3.8	3.6	1.4	18.4	45.4
女性(n=500)	10.8	9.8	7.2	7.8	7.6	5.8	5.4	7.0	6.2	6.6	6.6	5.4	5.2	5.0	4.4	5.4	4.4	3.4	3.6	0.2	16.4	49.8
年代別																						
18-29歳(n=200)	12.0	10.5	11.0	8.5	9.5	7.5	7.0	9.0	8.5	7.5	7.0	9.5	6.0	8.5	5.5	8.0	7.0	5.0	5.0	0.0	15.0	46.0
30代 (n=200)	10.5	7.5	7.5	12.0	6.0	4.5	5.0	6.0	6.5	7.0	9.0	7.0	5.5	5.5	6.5	5.5	2.5	5.0	3.0	1.0	15.0	49.5
40代 (n=200)	10.0	10.0	7.5	5.0	8.0	5.5	8.0	6.0	4.0	5.0	8.5	6.0	4.0	3.0	1.5	7.0	4.5	3.5	3.5	0.5	17.5	51.0
50代 (n=200)	6.5	9.0	10.5	6.0	5.5	5.0	4.5	3.0	5.0	3.0	3.0	5.5	4.0	2.5	3.5	1.0	3.0	3.0	2.5	1.5	21.0	44.5
60代 (n=200)	15.0	10.0	6.5	8.5	8.5	9.0	6.5	7.0	6.5	8.0	3.0	2.0	5.5	4.0	6.5	1.0	5.0	1.5	4.0	1.0	18.5	47.0
性・年代別																						
男性18-29歳(n=100)	14.0	15.0	15.0	10.0	8.0	8.0	10.0	10.0	10.0	7.0	6.0	12.0	5.0	7.0	6.0	7.0	8.0	7.0	6.0	0.0	15.0	43.0
男性30代 (n=100)	7.0	5.0	6.0	10.0	5.0	3.0	2.0	4.0	4.0	6.0	6.0	6.0	4.0	4.0	4.0	3.0	0.0	2.0	1.0	2.0	16.0	48.0
男性40代 (n=100)	10.0	12.0	8.0	6.0	10.0	8.0	11.0	5.0	6.0	7.0	10.0	7.0	7.0	5.0	3.0	7.0	7.0	4.0	6.0	1.0	22.0	47.0
男性50代 (n=100)	8.0	7.0	13.0	7.0	6.0	6.0	4.0	3.0	4.0	3.0	2.0	5.0	4.0	2.0	5.0	0.0	2.0	3.0	3.0	2.0	18.0	43.0
男性60代 (n=100)	15.0	6.0	8.0	8.0	8.0	9.0	8.0	5.0	6.0	5.0	4.0	3.0	4.0	4.0	7.0	1.0	5.0	3.0	2.0	2.0	21.0	46.0
女性18-29歳(n=100)	10.0	6.0	7.0	7.0	11.0	7.0	4.0	8.0	7.0	8.0	8.0	7.0	7.0	10.0	5.0	9.0	6.0	3.0	4.0	0.0	15.0	49.0
女性30代 (n=100)	14.0	10.0	9.0	14.0	7.0	6.0	8.0	8.0	9.0	8.0	12.0	8.0	7.0	7.0	9.0	8.0	5.0	8.0	5.0	0.0	14.0	51.0
女性40代 (n=100)	10.0	8.0	7.0	4.0	6.0	3.0	5.0	7.0	2.0	3.0	7.0	5.0	1.0	1.0	0.0	7.0	2.0	3.0	1.0	0.0	13.0	55.0
女性50代 (n=100)	5.0	11.0	8.0	5.0	5.0	4.0	5.0	3.0	6.0	3.0	4.0	6.0	4.0	3.0	2.0	2.0	4.0	3.0	2.0	1.0	24.0	46.0
女性60代 (n=100)	15.0	14.0	5.0	9.0	9.0	9.0	5.0	9.0	7.0	11.0	2.0	1.0	7.0	4.0	6.0	1.0	5.0	0.0	6.0	0.0	16.0	48.0

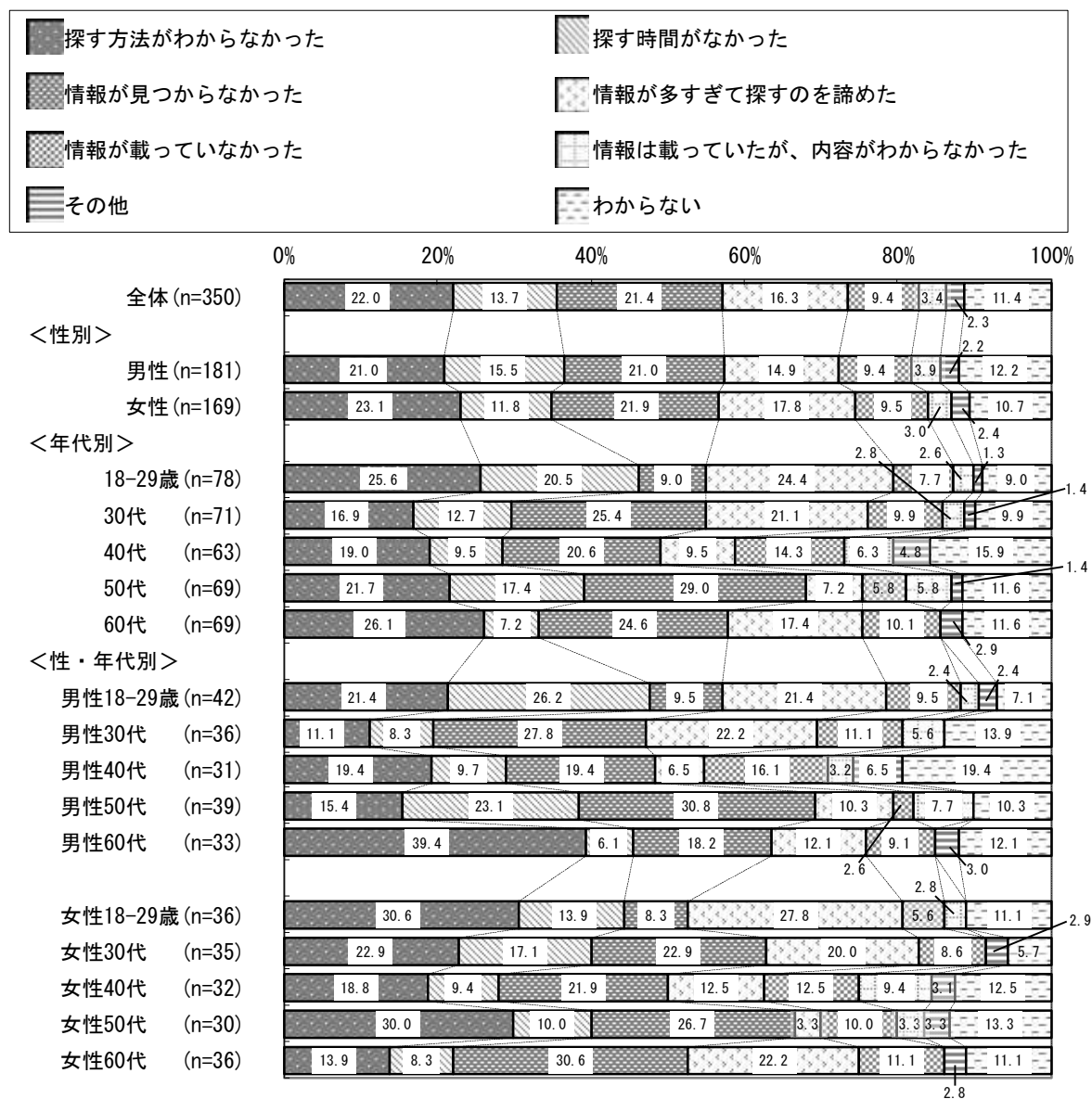
【全体結果】「道路や駅前の今後の整備計画」が11%で最も高く、「災害が起こりやすい危険箇所の情報」、「予防接種や夜間当番医などの医療情報」（ともに9%）、「窓口での手続き方法や持ち物」、「福祉サービスに関する情報」（ともに8%）が続いた。
一方、「取得できなかったものはない」は、48%であった。

(Q18で、「わからない」、「取得できなかったものはない」以外を回答した人が対象)

Q19. 市の情報を取得できなかった理由

あなたが、市の情報を取得できなかった理由は何ですか。

以下の中から、最もあてはまるものを1つだけ選んでください。



【全体結果】必要としていた市の情報が取得できなかった人(350人)に、取得できなかった理由を聞いたところ、「探す方法がわからなかった」が22%で最も高く、「情報が見つからなかった」が21%、「情報が多すぎて探すのを諦めた」が16%であった。

◎年代別で見ると、「探す時間がなかった」は、18-29歳(21%)のみ2割を超えた。

3 調査票（アンケート画面）

SC1
必須

あなたのお住まいをお答えください。

- | | |
|-----------------------------------|--|
| <input type="radio"/> 1. さいたま市西区 | <input type="radio"/> 6. さいたま市桜区 |
| <input type="radio"/> 2. さいたま市北区 | <input type="radio"/> 7. さいたま市浦和区 |
| <input type="radio"/> 3. さいたま市大宮区 | <input type="radio"/> 8. さいたま市南区 |
| <input type="radio"/> 4. さいたま市見沼区 | <input type="radio"/> 9. さいたま市緑区 |
| <input type="radio"/> 5. さいたま市中央区 | <input type="radio"/> 10. さいたま市岩槻区 |
| | <input type="radio"/> 11. その他（具体的に） <input type="text"/> |

SC2
必須

あなたの性別と年齢をお答えください。

- | | |
|------------------------------------|-------------------------------------|
| <input type="radio"/> 1. 男性 18歳未満 | <input type="radio"/> 9. 女性 18歳未満 |
| <input type="radio"/> 2. 男性 18～29歳 | <input type="radio"/> 10. 女性 18～29歳 |
| <input type="radio"/> 3. 男性 30～39歳 | <input type="radio"/> 11. 女性 30～39歳 |
| <input type="radio"/> 4. 男性 40～49歳 | <input type="radio"/> 12. 女性 40～49歳 |
| <input type="radio"/> 5. 男性 50～59歳 | <input type="radio"/> 13. 女性 50～59歳 |
| <input type="radio"/> 6. 男性 60～69歳 | <input type="radio"/> 14. 女性 60～69歳 |
| <input type="radio"/> 7. 男性 70～79歳 | <input type="radio"/> 15. 女性 70～79歳 |
| <input type="radio"/> 8. 男性 80歳以上 | <input type="radio"/> 16. 女性 80歳以上 |

「自治会加入」について、質問します。

Q1 必須 現在、自治会に加入している方について、加入している理由は何ですか。
以下の中から、あてはまるものを**すべて**選んでください。
現在、自治会に加入していない方は、**選択肢15**を選んでください。

- ☐ 1. 親の代から加入しているから
- ☐ 2. 周りが加入しているから
- ☐ 3. 不動産関係業者から加入を案内されたから
- ☐ 4. 地域や近隣の方との交流を図りたいから
- ☐ 5. 地域に貢献したいから
- ☐ 6. 住み慣れたまちへの郷土愛
- ☐ 7. ごみ置き場を利用するため
- ☐ 8. 子ども会に入っているから
- ☐ 9. 回覧板等の情報が欲しいから
- ☐ 10. 運動会・夏祭り・盆踊りなどのイベントがあるから
- ☐ 11. 災害時に助け合えるから
- ☐ 12. 加入するものだと思っているから
- ☐ 13. なんとなく
- ☐ 14. その他(具体的に)
- ☐ 15. 加入していない

Q2 必須 自治会にかつて加入していたが、退会した方について、退会した理由は何ですか。
以下の中から、あてはまるものを**すべて**選んでください。
自治会を退会したことがない方は、「退会したことがない」を選んでください。
また、自治会に加入したことがない方は、「加入したことがない」を選んでください。

- ☐ 1. 高齢となり活動が大変だから
- ☐ 2. 役員になりたくないから
- ☐ 3. 子ども会を退会したから
- ☐ 4. 人間関係によるトラブルのため
- ☐ 5. 自治会運営に不満があるから
- ☐ 6. 回覧板のやりとりが面倒だから
- ☐ 7. 会員情報の取り扱いが信用できないから
- ☐ 8. メリットを感じられないから
- ☐ 9. 仕事が忙しいから
- ☐ 10. 家庭の都合で忙しいから
- ☐ 11. 会費の負担が重いから
- ☐ 12. 加入は任意だから
- ☐ 13. その他(具体的に)
- ☐ 14. 退会したことがない
- ☐ 15. 加入したことがない

Q3 今まで自治会に加入したことがない方について、加入したことがない理由は何ですか。
必須 以下の中から、あてはまるものを**すべて**選んでください。

- ☐ 1. 定住するつもりがないから
- ☐ 2. 加入方法がわからないから
- ☐ 3. 加入しなくても生活に支障がないから
- ☐ 4. 他人との交流が面倒だから
- ☐ 5. 会員情報の取り扱いが信用できないから
- ☐ 6. メリットを感じられないから
- ☐ 7. 仕事が忙しいから
- ☐ 8. 家庭の都合で忙しいから
- ☐ 9. 会費の負担が重いから
- ☐ 10. 加入は任意だから
- ☐ 11. その他(具体的に)

「生涯学習」について、質問します。

Q4 あなたは、この1年間に、どのような生涯学習を行いましたか。
必須 以下の中から、あてはまるものを**すべて**選んでください。

- ☐ 1. 職業上の知識・技術・技能の習得、資格の取得（例：医療・介護事務、簿記など）
- ☐ 2. 家庭生活、日常生活、健康など（例：料理、洋裁、消費生活、コミュニケーション、病気予防、栄養など）
- ☐ 3. 子育て、青少年の健全育成（例：育児、しつけ、非行・いじめ防止など）
- ☐ 4. 社会問題、市民生活（例：環境保護、高齢社会、人権問題、国際交流、ボランティア活動、地域活動など）
- ☐ 5. 学術や教養（例：文学、歴史、科学、語学など）
- ☐ 6. 趣味やけいこ事（例：音楽、美術、華道、舞踊、書道など）
- ☐ 7. スポーツやレクリエーション（例：野球、サッカー、卓球、テニス、ダンス、登山、ハイキングなど）
- ☐ 8. パソコンやインターネット（例：Word や Excel の活用講座、スマートフォンの活用法、ホームページの作り方など）
- ☐ 9. その他(具体的に)
- ☐ 10. 特に行っていない

Q5 あなたは、生涯学習を通じて身につけた知識や技能を、どのように活かしていますか。
必須 以下の中から、あてはまるものを**すべて**選んでください。

- ☐ 1. 自分の健康維持・増進に活かしている
- ☐ 2. 家庭や日常の生活に活かしている
- ☐ 3. 仕事や就職に活かしている
- ☐ 4. さらに深い知識や技能を身につけるために役立てている
- ☐ 5. ボランティアなど地域活動に活かしている
- ☐ 6. 他の人の学習やスポーツ、文化活動などの指導に活かしている
- ☐ 7. その他(具体的に)
- ☐ 8. 活かす機会がない
- ☐ 9. 活かそうとは思わない

Q6 生涯学習活動を行う際に支障がある方について、どのようなことが支障になりますか。
必須 以下の中から、あてはまるものを**すべて**選んでください。
支障がない方は、**選択肢 1 5**を選んでください。

- ☐ 1. 仕事が忙しくて時間がない
- ☐ 2. 家事が忙しくて時間がない
- ☐ 3. 育児のために時間がない
- ☐ 4. 親などの介護のために時間がない
- ☐ 5. 費用がかかる
- ☐ 6. 家族の理解が得られない
- ☐ 7. 一緒に学習活動する仲間がいない
- ☐ 8. 身近なところに施設や場所がない
- ☐ 9. 自分の希望する講座がない
- ☐ 10. 必要な情報が入手できない
- ☐ 11. 生涯学習について相談する場所がない、人がいない
- ☐ 12. きっかけがつかめない
- ☐ 13. 生涯学習には関心がない
- ☐ 14. その他(具体的に)
- ☐ 15. 特にない
- ☐ 16. わからない

Q7 あなたは、生涯学習に関する情報をどのように得ていますか。
必須 以下の中から、あてはまるものを**すべて**選んでください。

- ☐ 1. 新聞、雑誌、テレビ、ラジオ
- ☐ 2. 市報さいたま、生涯学習情報誌、公民館報、自治会掲示板、回覧板
- ☐ 3. インターネット、SNS（生涯学習情報システムを含む）
- ☐ 4. 市役所や公民館などの公共施設（ポスター・チラシなどを含む）
- ☐ 5. 学校や職場（ポスター・チラシなどを含む）
- ☐ 6. 駅や路上、商業施設など（ポスター・チラシなどを含む）
- ☐ 7. 家族、友人、知人などから
- ☐ 8. その他(具体的に)
- ☐ 9. 特に情報を得ていない

Q8 あなたが、社会や地域の課題の中で、関心のある学習テーマは何ですか。
必須 以下の中から、あてはまるものを**すべて**選んでください。

- ☐ 1. 防災・防犯
- ☐ 2. 環境保護
- ☐ 3. 子育て・家庭教育
- ☐ 4. 青少年の健全育成
- ☐ 5. 世代間交流
- ☐ 6. 健康（保健・医療・福祉）
- ☐ 7. 少子高齢化
- ☐ 8. 障害者福祉
- ☐ 9. 地域の歴史・文化・自然
- ☐ 10. まちづくり・地域づくり
- ☐ 11. 人権
- ☐ 12. 男女共同参画
- ☐ 13. 国際交流
- ☐ 14. その他(具体的に)
- ☐ 15. 特にない

「道路消毒」について、質問します。

Q9 必須 あなたは、浸水した家屋の感染症対策について、国が「感染症予防のためには清掃と乾燥が最も重要です」「屋外（床下や庭）では消毒は原則不要です」とお知らせしている※ことは知っていましたか。
以下の中から、あてはまるものを1つだけ選んでください。
※厚生労働省「被災した家屋での感染症対策」
https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_00341.html

- ☐ 1. 知っていた
- ☐ 2. 知らなかった

※集中豪雨等により、道路が冠水した際に、市民からの求めに応じて塩化ベンザルコニウムを主成分とする薬剤を散布し道路を消毒する制度（条件あり）があります。

Q10 必須 あなたは、薬剤散布による道路消毒が行われることについて、どう思いますか。
以下の中から、最もあてはまるものを1つだけ選んでください。

- ☐ 1. 屋外の消毒は原則不要とする国のお知らせがあるなら道路も必要性を感じない
- ☐ 2. 薬剤による人やペットへの影響が心配なため必要性を感じない
- ☐ 3. 薬剤による庭木や草花などの生活環境への影響が心配なため必要性を感じない
- ☐ 4. 薬剤の適正使用（用法用量を守る）をしていても薬剤のにおい等が気になるので必要性を感じない
- ☐ 5. 道路を清潔に保つため薬剤散布をしてほしい
- ☐ 6. 消毒による安心感が得られるため薬剤散布をしてほしい
- ☐ 7. 薬剤の適正使用（用法用量を守る）をしていれば問題ないと思うので薬剤散布をしてほしい
- ☐ 8. 上記以外の理由により道路への薬剤散布の必要性を感じない（理由）
- ☐ 9. 上記以外の理由により道路への薬剤散布をしてほしい（理由）
- ☐ 10. わからない／判断できない

「在宅医療」について、質問します。

Q11 あなたが、人生の最後を迎えたい場所はどこですか。
必須 以下の中から、あてはまるものを1つだけ選んでください。

- ☐ 1. 自宅
- ☐ 2. 病院
- ☐ 3. 高齢者向けのケア付き住宅
- ☐ 4. 特別養護老人ホームなどの福祉施設
- ☐ 5. その他(具体的に)
- ☐ 6. わからない

Q12 あなたが、人生の最後を迎えたい場所を選んだ理由は何ですか。
必須 以下の中から、あてはまるものを**すべて**選んでください。

- ☐ 1. 住み慣れた場所で最後を迎えたいから
- ☐ 2. 家族等との時間を多くしたいから
- ☐ 3. 介護してくれる家族等に負担がかかるから
- ☐ 4. 病院や福祉施設の方が、専門家によるサポートを受けられて安心できるから
- ☐ 5. 病院は経済的に負担が大きいから
- ☐ 6. 症状が急に悪くなった時にすぐに病院に入院できる体制が整っているから
- ☐ 7. 症状が急に悪くなった時にすぐに医師や看護師が訪問してくれるから
- ☐ 8. 介護してくれる家族等がないから
- ☐ 9. 症状が急に悪くなった時にすぐに医師や看護師の訪問が受けられるか不安だから
- ☐ 10. 症状が急に悪くなった時にすぐに病院に入院できるか不安だから
- ☐ 11. 定期的に訪問してくれる医師がいるから
- ☐ 12. その他(具体的に)
- ☐ 13. 特に理由はない／なんとなく

Q13
必須

あなたが、人生の最終段階において受たい医療・ケアについて、家族等や医療関係者と話し合ったことがありますか。
以下の中から、あてはまるものを1つだけ選んでください。

- ☐ 1. 詳しく話し合っている
- ☐ 2. 一応話し合っている
- ☐ 3. 家族等との話し合いに抵抗を感じるため、話し合ったことはない
- ☐ 4. 話し合うきっかけがないため、話し合ったことはない
- ☐ 5. 何を話し合ったらいいかわからないため、話し合ったことはない
- ☐ 6. 話し合う相手がいないため、話し合ったことはない
- ☐ 7. その他(具体的に)
- ☐ 8. わからない

Q14
必須

あなたが、家族等や医療従事者と人生の最終段階における医療・ケアについて話し合うきっかけがあるとすれば、どのような出来事だと思いますか。すでに話し合ったことがある方はそのきっかけをお選びください。
以下の中から、あてはまるものを**すべて**選んでください。

- ☐ 1. 誕生日
- ☐ 2. 結婚
- ☐ 3. 妊娠・出産（配偶者の場合も含む）
- ☐ 4. 自分の病気
- ☐ 5. 退職
- ☐ 6. 遠征
- ☐ 7. ご家族等の病気
- ☐ 8. ご家族等の介護
- ☐ 9. ご家族等の死
- ☐ 10. 人生の最終段階についてメディア（新聞・テレビ・ラジオ・インターネット等）から情報を得た時
- ☐ 11. 医療・介護従事者による説明や相談の機会を得た時
- ☐ 12. その他(具体的に)
- ☐ 13. 特にない／わからない

将来の人生をどのように過ごして、どのような医療や介護を受けて最期を迎えるかを計画し、ご自身の考えをご家族や近い人、医療やケアの担当者にあらかじめ表しておく取組をアドバンス・ケア・プランニング（ACP＝人生会議）といいます。

Q15 あなたは、アドバンス・ケア・プランニング（ACP＝人生会議）について、知っていましたか。
必須 以下の中から、あてはまるものを1つだけ選んでください。

- ☐ 1. 言葉の意味も含めて知っていた
- ☐ 2. 言葉は聞いたことがあるが、意味は知らなかった
- ☐ 3. 知らなかった

「再犯防止の推進」について、質問します。

Q16 あなたは、犯罪をした人等の立ち直りに協力したいと思いますか。
必須 以下の中から、あてはまるものを1つだけ選んでください。

- ☐ 1. 思う
- ☐ 2. 思わない
- ☐ 3. わからない

Q17 あなたが、再犯防止等に関する用語のうち、内容を知っていたものはありますか。
必須 以下の中から、あてはまるもの**すべて**を選んでください。

- ☐ 1. 保護司（犯罪をした人等の立ち直りを地域で支える民間のボランティア）
- ☐ 2. 保護観察所（犯罪をした人等に対し、社会の中で更生するよう指導と支援を行う機関）
- ☐ 3. 矯正施設（刑務所、少年院、少年鑑別所等、犯罪をした人等を収容する施設）
- ☐ 4. 更生保護（犯罪をした人等を社会の中で適切に処遇し、地域社会の理解・協力を得て、自立し改善更生することを助けることにより、安全安心な地域社会を作ること）
- ☐ 5. 更生保護施設（犯罪をした人等に一定期間、宿泊場所や食事を提供する民間施設）
- ☐ 6. 協力雇用主（犯罪をした人等を雇用する事業主）
- ☐ 7. 社会を明るくする運動（すべての国民が、犯罪をした人等の更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない明るい地域社会を築こうとする法務省主唱の運動）
- ☐ 8. 再犯の防止等の推進に関する法律
- ☐ 9. さいたま市再犯防止推進計画
- ☐ 10. この中に知っていたものはない

「市の情報取得」について、質問します。

Q18 必要としていた市の情報が取得できなかった方について、取得できなかった情報は何ですか。
必須 以下の中から、あてはまるものをすべて選んでください。
取得できなかった情報がない方については、選択肢 22 を選んでください。

- ☐ 1. 予防接種や夜間当番医などの医療情報
- ☐ 2. 災害が起こりやすい危険箇所の情報
- ☐ 3. 道路や駅前の今後の整備計画
- ☐ 4. 市内で開催される観光・スポーツ・文化イベントの情報
- ☐ 5. 窓口での手続き方法や持ち物
- ☐ 6. ごみの出し方やリサイクルの情報
- ☐ 7. 事故・防犯に関する情報
- ☐ 8. 福祉サービスに関する情報
- ☐ 9. 公共施設の新設・補修・廃止計画
- ☐ 10. 市内の見どころや特産物などの地域情報
- ☐ 11. 公園やプールなどの遊び場の情報
- ☐ 12. 公民館や体育館などでの市民向け講座の情報
- ☐ 13. 子育てや教育に関する情報
- ☐ 14. 市の総合計画、市の将来像
- ☐ 15. 運動や食事などの健康維持に関する情報
- ☐ 16. 予算・決算などの市の財政状況
- ☐ 17. 就労支援や職業紹介
- ☐ 18. 市民活動やボランティアに関する情報
- ☐ 19. 環境保全への取組に関する情報
- ☐ 20. その他(具体的に)
- ☐ 21. わからない
- ☐ 22. 取得できなかったものはない

Q19
必須

あなたが、市の情報を取得できなかった理由は何ですか。
以下の中から、最もあてはまるものを1つだけ選んでください。

- ☐ 1. 探す方法がわからなかった
- ☐ 2. 探す時間がなかった
- ☐ 3. 情報が見つからなかった
- ☐ 4. 情報が多すぎて探すのを諦めた
- ☐ 5. 情報が載っていなかった
- ☐ 6. 情報は載っていたが、内容がわからなかった
- ☐ 7. その他(具体的に)
- ☐ 8. わからない

このさいたま市インターネット市民意識調査業務の委託に要する経費は 218 万円です。